広報
みさわ
2012年
（平成24年）
No. 690
4月号

特集
希望の軌道
… 2～7P

■特集　平成24年度予算…… 8～13 P
■市政の動き……14～21 P
■マックチャンネルガイド……22～23 P
■出来事通信……24～25 P
■みさわ情報ネット……26～31 P
■新たな園舎に入所／淋代保育所…… 32 P

第五中学校卒業式

3月8日　第五中学校　講堂

３年間の想いがこみ上げ、頬を伝う涙。
恩師の言葉、友との思い出を胸に、卒業生たちは新たな一歩を踏みだした。

特集

希望の軌道

想いを胸に新たな道に歩みだす

それぞれの「卒業」。
目の前に続くのは、自らが作る希望の軌道

中央保育所 終了式

1 涙をこらえる修了児に所長から保育証書が手渡される
2 3 いろいろな出来事を思い出しながら歌う修了児
4 あふれる涙を拭いながら、大好きな先生が作るアーチをくぐって旅立つ修了児

保護者が見守る中、面倒を見てきた小さな「弟」「妹」、優しく大好きだった先生たちに見送られ、3月10日、23人の子どもたちが市立中央保育所を巣立った。

正装に身を包み、少しだけ緊張しながらも、きびきびとした足取りと大きな声で式を進める立派な姿は、毎日の中でいろいろなことを教えてきてくれた先生や保護者たちに「これからもしっかりがんばっていけるよ」と伝えているかのよう。同保育所の園所長が保育証書を手渡しながら一人ひとりと目を合わせ、最後のメッセージを伝えると、力強く受け取る修了児の目には大粒の涙が輝いていた。

市が直営してきた中央保育所には指定管理者制度の導入が決定しており、4月からは社会福祉法人鳳鳴会が管理運営する。これまで子どもたちを見守ってきた「先生」である市職員の保育士たちも3月いっぱいで中央保育所から離れることとなる。子どもたちと一緒に学び、遊び、泣き、笑ってきた先生たち。修了児の立派な姿を見て、これまでのさまざまな出来事や思い出を振り返り、あふれる涙をこらえきれなかった。

時に厳しくも、優しく温かく愛され育った子どもたちは、大きく大きく育っていくことだろう。

第五中学校 卒業式

5 共に3年間を過ごした友との最後の合唱
6 卒業生から在校生や恩師らへのお別れの言葉
7 最後のホームルーム。涙と笑顔があふれる

3月8日、市内の全ての中学校で卒業式が行われ、計482人の生徒が旅立ちを迎えた。

学校長やPTA会長らから贈られる祝福と激励の言葉。在校生からの熱い感謝の送辞と卒業生代表の思い出を振り返る答辞に、卒業生の目からは輝く涙がこぼれ、保護者や先生が見守る中、卒業生と在校生による最後の合唱で式は幕を閉じた。

それぞれのクラスに戻った卒業生たちが共に過ごした時間を思い出し、1人ずつ想いを伝えていく最後のホームルーム。こみ上げる感情に目を赤くしながら、大切な友と笑いあう大切な時間。

厳しくも愛情あふれる恩師の言葉を胸に、卒業生たちは希望あふれる軌道に新たな一歩を踏み出した。

第三中学校 卒業式

8 3年間を振り返りながら毅然とした姿の第三中学校卒業生
9 卒業証書を受け取る卒業生の目には大粒の涙が光る

失われる軌道

十和田観光電鉄　鉄路の廃止

もう一つの卒業

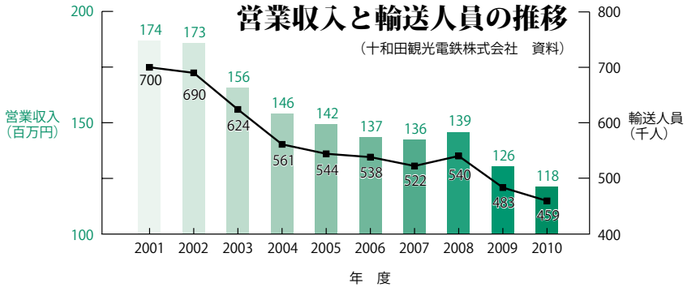
「卒業式は終わったの？」十和田観光電鉄の改札口で、次々と切符や定期券を見せる生徒たちと言葉を交わすのは、同社社員の奈良岡さん。

「昔は親子が電車に乗って卒業式に向かう姿が見られましたが、今はみんな車を使うようです」と寂しげに話す。時代の流れやさまざまな要因から利用者が少なくなり、今は病院に通う人と学生が主な利用者とのこと。それでも3年間毎日のように通う高校生は、自然に一人一人の顔を覚えてしまう。あいさつを欠かさない生徒もいれば、少しやんちゃな生徒もいる。そんな生徒たちも、高校の卒業式であるこの日ばかりは「お世話になりました」と頭を下げていった。「この鉄道がもうすぐ無くなるということを知っているんでしょう」。44年間、利用者を送り迎えしてきた奈良岡さんは、昨年9月で60歳を迎えた。

「この電車に乗っていた高校生が、当時の自分と同じくらいの子どもを連れて『あのときはお世話になりました』って声をかけられましたよ。すっかり面影はなくなり立派な大人になっていて困ってしまった」と話す奈良岡さんは、歴史を物語る顔にしわを寄せてはにかんだ。

開業から90年の長い歳月、利用者を愛し、利用者から愛されてきた十和田観光電鉄の鉄道の軌道は3月31日を最後に閉じる。

1 長年にわたって利用者を迎え見送ってきた改札口の奈良岡さん
2 毎日通ってきた生徒の卒業を改札口で迎え、ささやかな一言をかけていく
3 48年にわたって親しまれてきた木造モルタル造りの駅舎
4 レストランや土産店を併設する観光センターとしても利用された駅構内
5 駅構内のそば店は、今も常連客や学生などに愛用されている



地域を支えてきた軌道

十和田観光電鉄鉄道線は、1922年に古間木（現三沢）と三本木（現十和田市）を結ぶ蒸気鉄道として開業。本年で開業90周年を迎える。

開業当時は十和田湖観光のメインルートとして多くの観光客に利用されたが、観光バスの遊覧コースができたことによって観光目的の利用者は次第にバスへと移っていった。しかし、一方では生活路線としての使命が大きくなる。沿線には三本木農業高校と十和田工業高校、北里大学があることで朝・夕は多くの学生が利用、三沢駅がJR（旧国鉄・現青い森鉄道）三沢駅に隣接していたことから通勤や出張に利用するビジネス目的の利用者も多かった。さらに、十和田市駅に駅ビルが併設され、沿線から両都市への買い物や通院など生活のための移動手段として利用されてきた。

鉄路廃止への経緯

時代が進むにつれて状況は変わり、自家用車の利用など複数の要因によって利用者は年々減少。営業収益もほぼ一貫して減り続け、三沢市を含む沿線自治体の支援を受けながら、電車の全面置き換えやATS（自動列車停止装置）を導入するなどして運行を存続させてきた。

また、施設の老朽化に伴う多額の投資が避けられない状況の中で、さらに追い打ちをかけたのが2010年12月の東北新幹線青森延伸開業。新幹線から三沢駅に接続する急行がなくなり、ビジネスや旅行目的の利用者数が大きく落ち込むこととなった。

同社では、「お花見電車」や「七夕電車」などのイベント電車を企画したり、記念乗車券の発売、青い森鉄道・IGRいわて銀河鉄道と相互の利用促進協定を締結するなどして継続的に利用者数の増加に向けて取り組んできたが、大幅な増収には至らなかった。それでも地域に根差した公共交通機関を死守したいとの想いで運行を続けてきた。

同社は昨年8月に沿線自治体3市町に経済的支援を要請。今後10年間で5億2千万円の負担について、各自治体で説明会を開催して利用者からの意見も聞きながら検討を進めた。三沢市における説明会では、三沢・十和田両市の学校に通う生徒の大切な交通手段であることから存続する方法を求める声が多く聞かれたが、今後長期に渡り自治体が負担をしていくことに疑問を唱える声もあった。

昨年10月、最終的には自治体による支援には至らず、十和田観光電鉄は鉄路の廃止を決定した。

十和田観光電鉄の略歴

1913	大正 2	08.22	三本木の資産家たちが古間木～三本木間の軌道敷設特許を取得
1914	大正 3	06.26	十和田軌道が設立
1920	大正 9	09.27	十和田軌道が古間木～三本木間の地方鉄道敷設免許を取得
		10.30	十和田軌道から十和田鉄道に社名を変更
1922	大正 11	09.05	軌間 762 ミリの蒸気鉄道として古間木～三本木間が開業
1926	大正 15	08.01	古間木駅を約 120 m国鉄線の駅寄りに移設。
			乗合自動車の営業を開始
1951	昭和 26	12.30	十和田鉄道が十和田観光電鉄に社名変更
	昭和 36	03.01	古間木駅が三沢駅に改称
1964	昭和 39	7 月	三沢駅の駅舎を改築。三沢観光センターが完成
1968	昭和 43	05.16	十勝沖地震が発生。各所が被災して全線運休
		07.01	全線運転再開
1969	昭和 44	05.01	工業高校前駅が開業
		05.15	三本木駅が十和田市駅に改称
		10.01	三農校前駅が開業
1970	昭和 45	8 月	クリーム色と赤色の車体カラーを導入
1972	昭和 47	08.15	渋沢農場前駅が、ひがし野団地駅に改称
1984	昭和 59	04.01	北里大学前駅が開業
1985	昭和 60	10.28	十和田市駅が移転。とうてつ駅ビルを併設
1986	昭和 61	11.01	貨物営業が廃止
1995	平成 07	10.01	ワンマン運転が開始
2007	平成 19	03.31	「とうてつ駅ビル店」閉店
2008	平成 20	03.01	経営再建のために十和田観光電鉄が全事業を「とうてつ」に譲渡。「とうてつ」が新たに「十和田観光電鉄（二代目）」に社名変更して事業を継承
2010	平成 22	10.14	IGR いわて銀河鉄道、十和田観光電鉄、青い森鉄道の 3 社が相互利用促進の覚書を締結
2011	平成 23	08.18	沿線自治体に支援を要請
		09.02	三沢市における「十和田観光電鉄に関する意見を聴く会」を実施
		10.03	沿線自治体による支援が行われないことが決定
2012	平成 24	03.31	十和田観光電鉄の鉄路廃止

新たなる軌道

十和田観光電鉄　代替バス路線概要

鉄道区間をバスが代替

鉄道路線の廃止は決定したが、現在の利用者の交通手段を確保するべく、十和田観光電鉄㈱は鉄道が運行していた区間を補う代替バスの運行を決定。利用者のニーズに配慮しながら路線や運賃、時刻などの検討を重ね、3月15日から開始した試験運行では本格運行に向けた利用者アンケートを実施。改正された青い森鉄道のダイヤとも連携を図りながら、4月1日、本格運行を始める。

代替バスは従来の電車区間を補うものだが、起終点や停留所、運行方法、定期券など変更点も多いことから、同社ではパンフレットを作成して利用者にお知らせする。（パンフレットは十和田観光電鉄三沢駅または市役所に設置）

2つの中心を結ぶ軌道

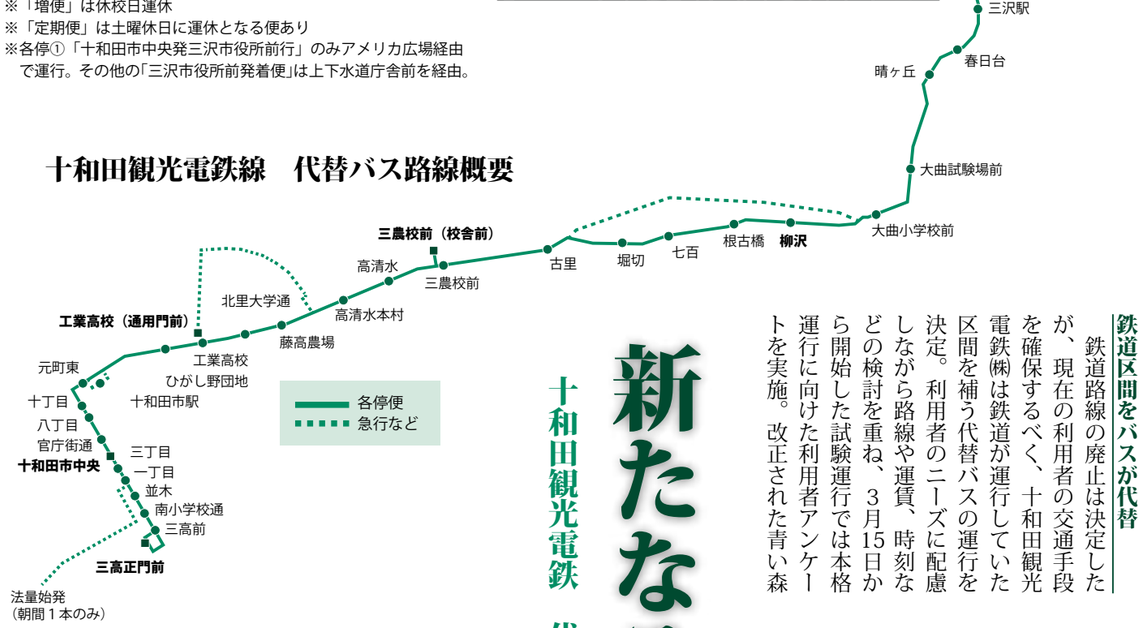
人口4万人以上の市を中心に周辺市町村と一体となって生活機能を確保し、暮らしやすい地域である「定住自立圏」を作る取り組みが全国各地で進められている。人口減少・少子高齢化が進む中で、生活機能を広域で維持し、人々が安心して暮らせる地域をつくることが目的である。上十三地域では、8市町村（7頁図参照）で、人口や都市機能の観点から三沢市と十和田市を中心市とした東北初の複眼型の定住自立圏の形成を目指して協議を進めており、3月29日に両市で中心市宣言を行った。今後は、2012年度中に協定締結とビジョンの策定を、2013年度からは本格的な事業着手を目指す。

将来の地域社会を考える中で重視しなければならないのは子どもや高齢者であり、その中には自ら自動車を運転して移動できない人も多い。広域の中心となる三沢市と十和田市の間の公共交通機関となる路線バスは、部活帰りの高校生や病院通いの高齢者にとってこれまで以上に欠かせない移動手段となり、生活を営む上で重要な役割を果たす。しかし、利用者が少なくなれば機能は低下し、地域の衰退が懸念される。

運行系統

各停便		定期便	増便
① 十和田市中央	～ 三沢市役所前	○	○
② 十和田市中央	～ 三沢高校前	○	—
③ 三高正門前	～ 三沢市役所前	○	○
④ 法量（十和田市）	～ 三沢高校前	○	—
⑤ 農協前（三沢市）	～ 三高正門前	○	—
⑥ 十和田市中央	～ 三農校前（校舎前）	—	○
⑦ 十和田市中央	～ 柳沢（六戸高校連絡）	—	○
急行便A	※十和田地区からの通学対応		
① 十和田市中央	～ 三沢高校前	—	○
急行便B	※三沢地区からの通学対応		
① 三沢市役所前	～ 三高正門前	—	○
② 三沢市役所前	～ 工業高校（通用門前）	—	○
③ 三沢市役所前	～ 三農校前（校舎前）	—	○

※「増便」は休校日運休
※「定期便」は土曜休日に運休となる便あり
※各停①「十和田市中央発三沢市役所前行」のみアメリカ広場経由で運行。その他の「三沢市役所前発着便」は上下水道庁舎前を経由。

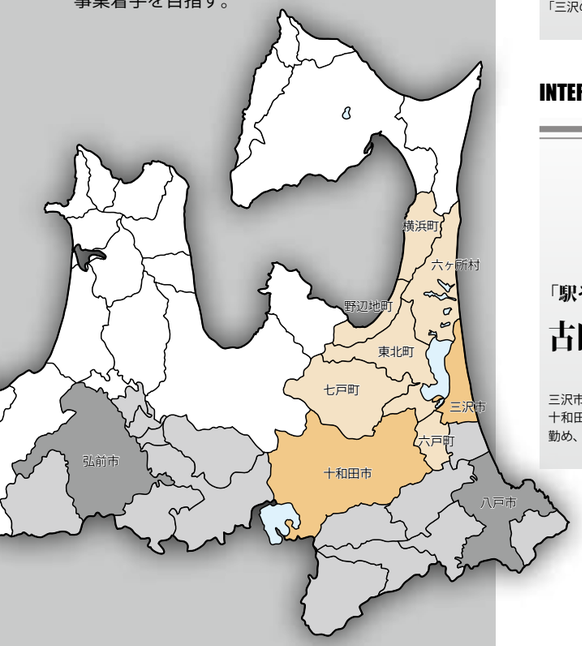


定住自立圏構想

「定住自立圏構想」とは人口５万人程度（少なくとも４万人超）以上の市を中心に、その周辺の市町村を含んだ「定住自立圏」と呼ばれる地域を形成。この圏域内で医療や雇用、交通といった機能を役割分担・連携し、圏域全体で生活機能を確保する構想のこと。

地方の人口流出を防ぐ目的から総務省が09年度から始めた事業で、現在は全国で64地域が定住自立圏を形成。青森県内では、同年度に八戸市を中心にした八戸圏域が、11年に弘前市を中心にした弘前圏域が形成されている。

上十三地域では三沢市と十和田市の２市を中心市とした８市町村による「複眼型」定住自立圏の形成を目指し、３月29日に両市で中心市を宣言、2012年度中に協定締結とビジョンの策定を行い、2013年度からの事業着手を目指す。



INTERVIEW　部活帰りの中高生やお年寄りに配慮を

駅前町内会 会長
中野渡 實（みのる）さん

三沢市本町在住。
十和田観光電鉄三沢駅の向かいにある中野渡理容店を経営。54年にわたって駅前を見つめてきた。

貨物の運搬や十和田湖観光など、十鉄のおかげで三沢や十和田は潤ってきました。その電車がなくなってしまうのは非常に残念です。

一番心配なのは、これまで利用してきた部活帰りの中高生や、病院通いのお年寄りたちです。数は少ないかもしれませんが、バスに形態が変わっても、その人たちが同じような生活を送れるような配慮が必要です。

また、電車の廃止によってバスの駅前発着場所の混雑が予想されます。バスは公共性を持つ乗り物。バス発着場所など常に利用者の側に立った検討をお願いしたいです。

INTERVIEW　地域の問題として考えるきっかけに

先人記念館 学芸員
堀内 彩子（さいこ）さん

三沢市堀口在住。
同館で十和田観光電鉄の歩みと沿線地域の暮らしを伝える「三沢の鉄道展」（開催中～４月22日）を企画。

地域に住む人々の熱い思いで始まった十鉄は地域の交通・経済はもちろん、上十三の観光事業や文化発信にも貢献してきました。

鉄道の廃止は難しい問題ですが、これは終わりではなく始まりだと思います。自分が住む地域に興味を抱き、魅力を知り、誇りを持って、企業と行政、地域に住む人々がみんなで協力していかなければ地域の発展性は衰えていく一方ではないでしょうか。地域の一人一人が自身の問題として捉えるきっかけになればと思います。

INTERVIEW　お客さんとのやりとりが何よりの楽しみ

「駅そば」店員
古田 裕美子さん

三沢市松園町在住。
十和田観光電鉄三沢駅舎内の飲食店「駅そば」に通算27年勤め、長年にわたって利用者を見つめてきた。

今までずっと長い間付き合ってきた鉄道が無くなるのは寂しいですね。

今までを振り返ると、学生やビジネスマン、旅行者など多くの人で賑わった時代を思い出します。いろいろな地方から来られるお客さんと会話をすることが本当に楽しかったです。会話が弾んで冗談を言い合ったりと、すごくいい思い出です。

代々の先輩から受け継いできた味は、今も変わっていません。だいぶ少なくはなりましたが、今も学生さんや評判を聞いて来てくれるお客さんがいることをうれしく思います。

そんな地方の公共交通機関の利用促進や活性化を目的とした取り組みとして「マイレール」のように、沿線の地域の人々が積極的に催しや清掃活動などに参加し、企業・行政・地域の人々が協力して支えている。

企業や行政はもちろん、一人一人が自分が住む地域を知り、興味を持つこと。自分だけではなく、子どもや孫、親や祖父母、そして地域の子どもや高齢者たちも含めて自身の問題と考え、積極的に関わっていくことが、地域を支え、地域に支えられる「軌道」の存続につながる。

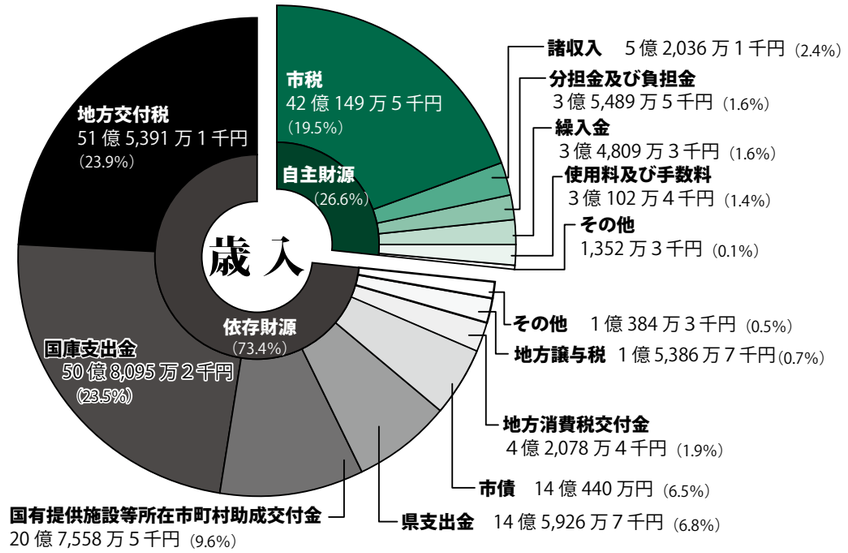
【特集　希望の軌道　完】

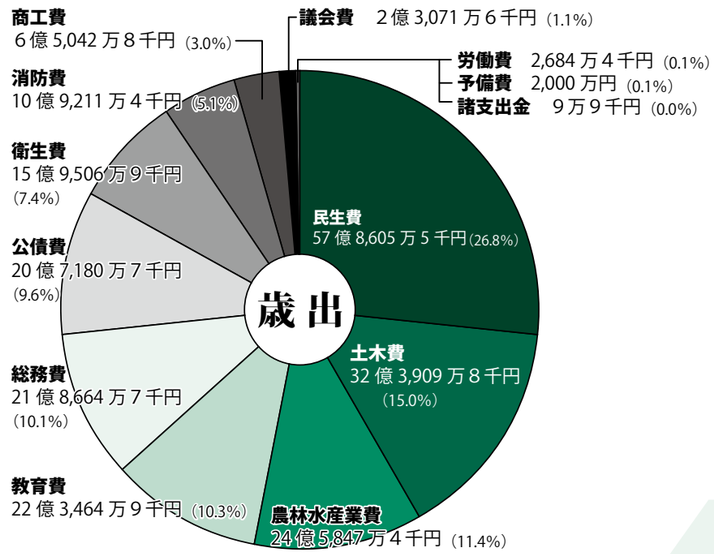
特集

平成24年度予算

2月16日閉会の平成24年三沢市議会第1回定例会で、一般会計予算をはじめとする9の新年度予算が審議・可決されました。予算総額は404億871万9千円。私たちの暮らしに活かされる平成24年度予算を紹介します。

一般会計　215億9,200万円の内訳





新年度予算編成にあたり

～市長提案理由説明から～

わが国の経済の動向は、東日本大震災の影響により依然として厳しいながらも、緩やかに持ち直している状況にあります。その先行きについては、各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されていますが、デフレの影響や雇用情勢の悪化などの懸念が依然として残り、今後も予断を許さない状況でもあります。

そのような中、国は平成24年度予算を日本再生元年予算と位置づけ、新成長戦略を強力に進めるとともに、社会保障・税一体改革成案に沿って具体化に向けた検討を進め、経済成長と財政健全化の両立を実現していくことを基本とした予算編成を行い、一般会計予算案は90兆3339億円、前年度当初予算に比べ2・2％の減となりました。

一方、当市の財政状況は、歳入については市税など自主財源や地方交付税を含む依存財源でも大幅な増加を見込むことができず、先々の見通しが極めて不透明なことなどから依然として厳しい財政環境に置かれています。

当市の平成24年度当初予算の編成にあたっては、目的および成果志向による行政経営システムに基づき、事務事業評価や施策評価の結果を的確に予算編成に反映するとともに、行財政改革との一体的取り組みにより、将来の世代への持続可能な財政構造を確立するための予算編成を基本方針とし、三沢市総合振興計画の基本理念である「人とまちみんなで創る国際文化都市」建設のため、▼健康で助け合うまちづくり▼環境と共生し安心できるまちづくり▼豊かな心と体を育むまちづくり▼働き暮らせるまちづくり▼生活に便利なまちづくり▼健全で開かれたまちづくりの6つの都市像の実現を目指した市勢発展の重要な施策・事業を推進するための予算編成が成されました。

その結果、平成24年度一般会計当初予算は歳入・歳出とも215億9200万円となり、前年度当初予算と比較して19億9700万円、率にして10・2％の増となりました。

会計別当初予算額の増減

会　　計	平成24年度	平成23年度	増減率
一般会計	215億9,200万　円	195億9,500万　円	10.2%
特別会計	118億6,811万5千円	102億5,942万1千円	15.7%
国民健康保険	40億6,865万2千円	40億9,261万2千円	▲　0.6%
食肉処理センター	24億7,819万7千円	5億3,916万4千円	359.6%
土地区画整理	―	2億　558万6千円	▲　100.0%
農業集落排水	3億1,549万8千円	4億9,482万1千円	▲　36.2%
下水道	16億3,848万6千円	15億1,763万7千円	8.0%
介護保険	30億2,807万8千円	30億7,356万4千円	▲　1.5%
後期高齢者医療	3億3,920万4千円	3億3,603万7千円	0.9%
企業会計	69億4,860万4千円	78億1,540万4千円	▲　11.1%
水道	12億7,098万6千円	16億4,229万9千円	▲　22.6%
病院	56億7,761万8千円	61億7,310万5千円	▲　8.0%
合計	404億　871万9千円	376億6,982万5千円	7.3%

用語の説明

歳入

自主財源
市が自主的に収入できる財源

依存財源
国や県の一定の基準によって額が決められ交付される財源

諸収入
延滞金や貸付金の元利収入など、他のどの科目にも含まれない収入をまとめた科目

繰入金
一般会計、特別会計、基金の間で相互に運用されるお金

使用料および手数料
市の施設の使用料や住民票などを交付したときの手数料など

分担金および負担金
市が行う事業で特定の利益を得る人などから負担してもらうお金

地方交付税
地方自治体ごとの財政運営の均衡をとるため国から交付されるお金

国庫支出金・県支出金
特定の目的の財源として国・県から交付されるお金

国有提供施設等所在市町村助成交付金
米軍および自衛隊が使用する固定資産について、国が市に対し財政調整とその補償のため交付するお金

市債
市が事業を進めるため国や銀行から借りるお金

地方譲与税
国税として徴収された後に市町村へ分配されるお金

地方消費税交付金
消費税の一部を財源に県から交付されるお金

歳出

民生費
福祉や医療、保育所運営などに使われるお金

土木費
道路や公園などの維持補修や整備のために使われるお金

公債費
市の借入金（市債）の元金や利子の償還に使われるお金

総務費
全般的な管理事務や財政、財産管理、徴税、選挙などに使われるお金

教育費
小中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金

衛生費
各種健診や予防接種などの保健関係、ごみやし尿の処理などに使われるお金

消防費
消防、防災、災害対策などに使われるお金

農林水産業費
農林水産業の振興や農道などの整備に使われるお金

商工費
商工業や観光振興に使われるお金

議会費
市議会の運営に使われるお金

労働費
雇用の安定のために使われるお金

予備費
急を要する予算外の支出に対応するためのお金

特集　平成 24 年度予算

「人とまちみんなで創る国際文化　都市」建設への６つの都市像

健　康　医　療　福　祉　社 会 保 障

病気の予防対策を推進し、健康づくりを応援。安心して医療サービスを受けられる体制の充実を図り、健康で暮らせるまちづくりを進めます。高齢者がいきいきと社会参加でき、障がい者などを地域社会で支え、さらに安心して子どもを産み育てることができるよう取り組みます。

49 億 9,596 万 7 千円

児童措置費	12 億 5,075 万円
保育所の運営や延長保育の推進、民間経営施設への支援など	
子ども手当費	6 億 7,551 万 5 千円
0 歳児から中学校卒業までの子どもを対象に支給	
長寿祝金	4,073 万円
70 歳以上の高齢者に対して祝金（5 千円～ 3 万円）を支給	
子ども医療費給付費	8,701 万 4 千円
子ども医療費の一部負担金を支給（対象者を 15 歳まで拡大）	
地産地消でわんぱく家族米支給費	957 万円
18 歳以下の子どもが 3 人以上いる家庭に対して米（45kg・60kg）を支給	
地域きずな・支えあい事業	350 万円
高齢者や障がい者への生活支援・災害時支援など地域で支え合う事業	

自然環境

生活環境　生活安全　基地対策　防災

環境問題の解消を目指し、自然を保全するとともに各種の公害から快適な生活環境を守ります。中でも三沢基地に起因する騒音などの諸障害の軽減に努めます。

また、防犯や交通事故防止の取り組みを進めるとともに、大地震や暴風雨などの災害に備えます。

11 億 6,698 万 9 千円

塵芥処理費	3 億 5,893 万円
ごみ焼却・処理施設や最終処分場の運営管理、ごみ収集・運搬作業など	
被災者住宅再建支援事業	1,760 万円
東日本大震災で被災した住宅再建資金の利子相当額の 80%を補助	
環境美化雇用対策推進業務	921 万 8 千円
非正規労働者や中高年齢者への雇用・就業機会を提供	
自然保護費	334 万 3 千円
ラムサール条約登録地の仏沼の保全と利活用をし、自然保護思想を啓発・普及	
自主防災組織資機材整備費補助金	315 万円
自主防災組織が防災活動を行うための資機材の整備	

国 際 化　教　育　文　化　スポーツ

国際交流を継続して国際性を養い、多様な文化への理解が深まるよう努めます。小中学校教育では個人の能力を最大限に発揮できるよう環境を整え、英語教育などを通じて多様なコミュニケーションができる人材育成に取り組みます。さらに文化活動やスポーツ活動の振興に努めます。

19 億 8,442 万 6 千円

第三中学校新築事業	4 億 5,846 万 7 千円
平成 24 年度完成予定の新校舎建築にかかる新築・防音・解体工事など	
幼稚園就園奨励費補助金	4,259 万 3 千円
保護者の経済的負担を軽減するために幼稚園の入園料や保育料を補助	
国際交流及び国際化事業	3,547 万 9 千円
教育課程特例校認定による小学校英語教育の推進や姉妹都市交流事業など	
スポーツ推進費	1,228 万 3 千円
各種大会出場選手の派遣費や体育協会への補助	
児童・生徒通学援助費	1,020 万 3 千円
おおぞら小、三沢小、第二中、第三中に通う児童・生徒への援助	

雇用　農業

水 産 業　商業　新産業創出　観光

新たな産業創出への支援や既存企業の競争力強化、企業誘致活動の推進により雇用の確保に努めます。また、効率的な農業生産や安定した漁業生産の確保に努め、農業・水産業の振興を推進。商業活性化に取り組み、さまざまな観光資源の PR や有効活用を進め、観光振興に努めます。

26 億 7,320 万 8 千円

農産物加工施設（学校給食センター）整備事業	11 億 6,261 万 5 千円
平成 24 年度完成予定の農産物加工施設建築工事など	
人参洗浄選別施設設置助成事業	5 億 9,241 万 2 千円
JA おいらせが谷地頭地区へ整備する人参洗浄選別施設の建設への助成	
中小企業対策資金	2 億 600 万円
中小企業の資金繰りの円滑化を図るため、簡易小口保証特別融資などを実施	
新築リフォーム支援事業	5,396 万 4 千円
住宅工事などの市内業者への発注を促進し、建築関連産業の活性化を図る	
地産販売推進補助金	1,270 万 8 千円
地産地消フェアなど各種イベントや農産物販路拡大推進事業への助成	

交 通 網

都市整備　高度情報化　市街地活性化

多様な交通手段を利用しやすい環境に整え、高速交通拠点の利便性確保と利用促進に取り組みます。加えて、快適で安全な道路や公共交通、上下水道など都市基盤の整備を図り、インターネットなどを活用した情報交換を推進し、効率的な公共サービスの提供を目指します。

24 億 8,460 万 2 千円

市道整備事業	10 億 2,696 万円
新たな都市整備基盤に向けた道路整備 ▶市道東岡三沢・松原線（アミューズメントステーション ブンカ～松原町 2 丁目） ▶市道三沢・下田線外 1 整備事業（日の出 3 丁目～浜三沢県道バイパス） ▶市道 46 号線（下久保～浜三沢）ほか	
三沢飛行場周辺整備統合事業	3 億 7,722 万円
市立三沢病院周辺道路・公園などの整備	
コミュニティバス運行事業費補助金	1,840 万円
4 月から本格運行へ移行することに伴う運行経費への補助金	
緑化推進等障がい者訓練受入業務	317 万 1 千円
環境美化などの就労訓練から民間企業への受け入れのためのモデル事業	

地域協働　行政改革

まちづくりに携わる市民活動組織を支援し、行政との適切な役割分担による地域協働のまちづくりを進めます。加えて、情報を広く提供し、住民自治の促進を図ります。また、広域的な課題に対処した効率的な行政運営推進のため、国・県・近隣市町村との連携強化を図ります。

1 億 2,926 万 7 千円

市民・行政の連携事業	1,095 万 2 千円
市民と行政が協働し、役割を分担してまちづくりを行えるよう市民の自発的な社会活動を支援します ▶市民活動ネットワークセンターみさわ運営費 ▶協働のまちづくり市民提案事業費補助金 ▶女性政策推進事業費（男女共同参画社会に向けた女性の意識啓発、ネットワークづくりなど）	
（仮称）新森地区ふれあい交流館建設事業	2,104 万 5 千円
（仮称）新森地区ふれあい交流館建設の工事など	
行政協力費謝礼	1,069 万 4 千円
市内各町内会への広報など配布作業に係る謝礼	

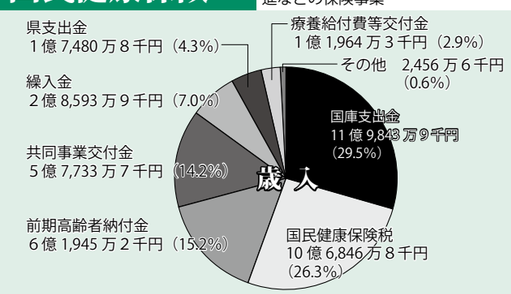
特別会計

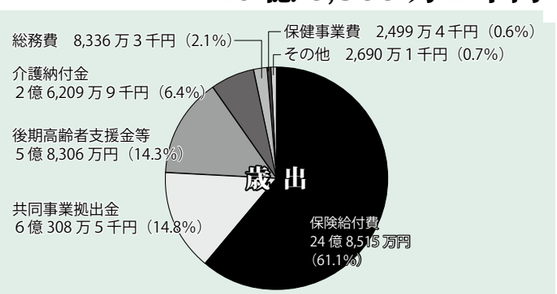
特定の事業を行う場合、または特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計と区別して経理をする必要がある会計です。

国民健康保険

疾病、負傷、出産および死亡に関して必要な保険給付や健康保持・増進などの保険事業

40 億 6,865 万 2 千円

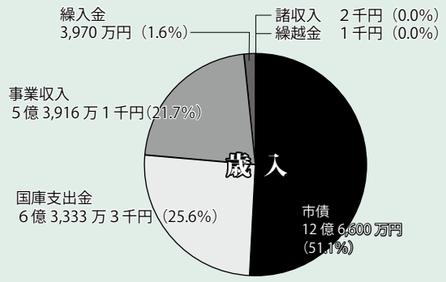


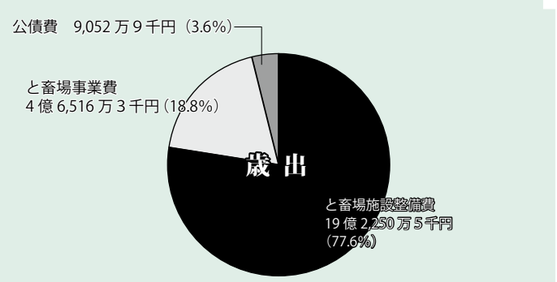


食肉処理センター

食肉用家畜を処理する三沢市食肉処理センターの運営事業

24 億 7,819 万 7 千円

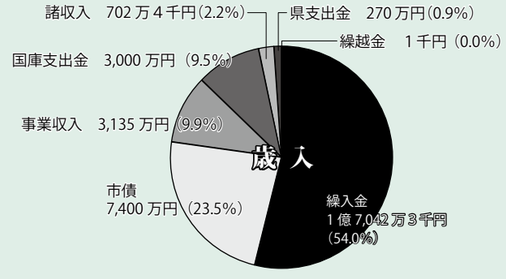


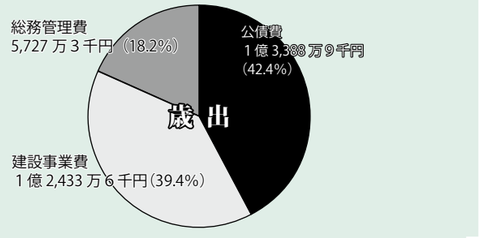


農業集落排水

三沢南部地区浄化センター付近の汚水処理事業

3 億 1,549 万 8 千円

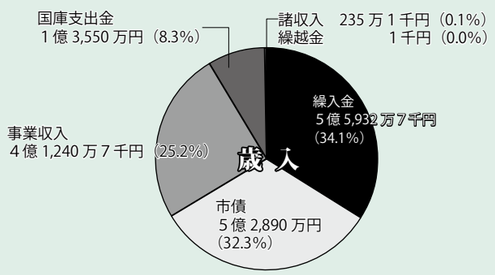


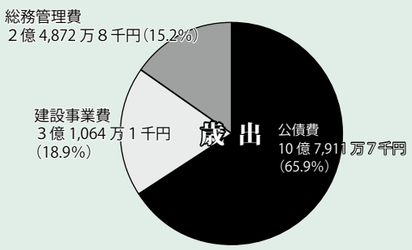


下水道

市街地を中心とした区域の汚水処理を行う公共下水道の整備運営事業

16 億 3,848 万 6 千円

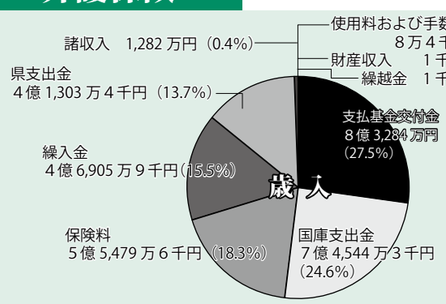


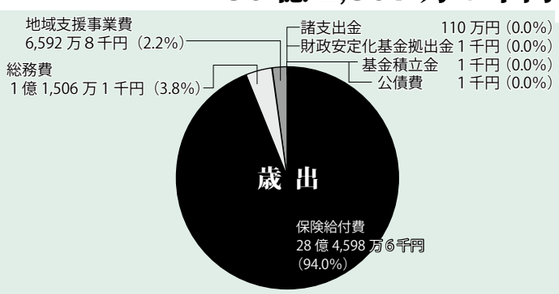


介護保険

要介護者を社会全体で支え、総合的な介護保険サービスを行う事業

30 億 2,807 万 8 千円

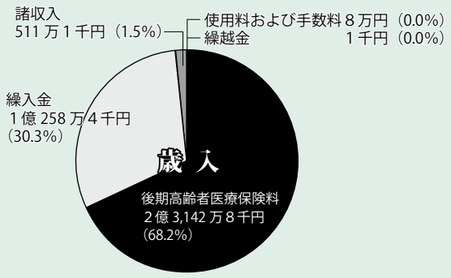


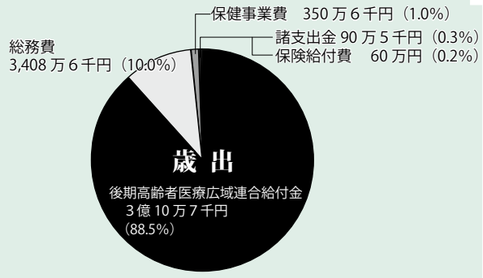


後期高齢者医療

75 歳以上の方など、後期高齢者に対する医療給付事業

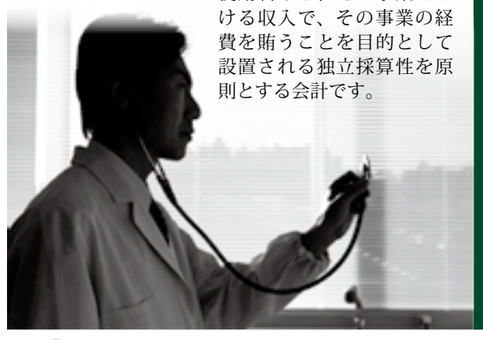
3 億 3,920 万 4 千円





企業会計

使用料など、その事業における収入で、その事業の経費を賄うことを目的として設置される独立採算性を原則とする会計です。



水　道　12 億 7,098 万 6 千円（支出計）

収益的	収入（水道料金、水道加入金など）	6 億 6,159 万 4 千円
	支出（人件費、動力費、企業債利息など）	6 億　888 万　円
資本的	収入（企業債、補助金、負担金）	3 億 3,737 万 2 千円
	支出（建設改良費、企業債償還金）	6 億 6,210 万 6 千円

病　院　56 億 7,761 万 8 千円（支出計）

収益的	収入（医業収益、医業外収益）	50 億 1,795 万 6 千円
	支出（医業費用、医業外費用、特別損失）	54 億 5,312 万　円
資本的	収入（企業債、出資金、補助金）	1 億 2,868 万 8 千円
	支出（建設改良費、企業債償還金）	2 億 2,449 万 8 千円

新たなる市議会

市民の期待を担う18人の議員を紹介

3月21日、去る3月4日に行われた三沢市議会議員一般選挙で当選した18人の議員による初めての臨時議会が開かれ、議長に船見亮悦氏、副議長に堀光雄氏が選出されました。

また、この日は常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の各委員が選任されたほか、市長提出議案10件を審議、すべて原案通り可決・同意され、閉会しました。

それぞれが対等の立場で地方自治を担うことから「車の両輪」に例えられる市議会と市長。「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」建設に向けて、新たな車が動き出しました。

議　長

船見（ふなみ）　亮悦（りょうえつ）

①中央町３丁目
②69歳
③市民クラブ
④５回

副議長

堀（ほり）　光雄（みつお）

①園沢
②61歳
③みさわ未来
④３回

髙橋（たかはし）　武志（たけし）

①東町１丁目
②62歳
③市民クラブ
④１回

加澤（かざわ）　明（あきら）

①南山
②53歳
③みさわ未来
④２回

澤口（さわぐち）　正義（まさよし）

①東岡三沢２丁目
②61歳
③拓心会
④２回

鈴木（すずき）　重正（しげまさ）

①松園町１丁目
②43歳
③拓心会
④２回

春日（かすが）　洋子（ようこ）

①細谷３丁目
②57歳
③なし
④３回

馬場（ばば）　騎一（きいち）

①六川目３丁目
②64歳
③市民クラブ
④６回

山本（やまもと）　弥一（やいち）

①岡三沢１丁目
②69歳
③拓心会
④８回

西村（にしむら）　盛男（もりお）

①下久保１丁目
②30歳
③拓心会
④３回

瀬崎（せざき）　雅弘（まさひろ）

①山ノ神
②59歳
③みさわ未来
④２回

野坂（のざか）　篤司（とくじ）

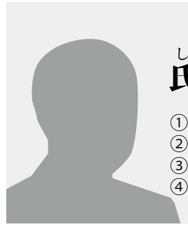
①東町２丁目
②66歳
③みさわ未来
④３回

小比類巻（こひるいまき）　雅彦（まさひこ）

①上屋敷
②55歳
③市民クラブ
④４回

森（もり）　三郎（さぶろう）

①南山３丁目
②62歳
③市民クラブ
④10回



氏名（しめい）

①住所
②年齢（平成24年４月１日現在）
③所属会派
④当選回数

正副議長以外は議席番号順

奥本（おくもと）　菜保巳（なおみ）

①大町３丁目
②51歳
③なし
④２回

太田（おおた）　博之（ひろゆき）

①下久保３丁目
②51歳
③みさわ未来
④３回

小比類巻（こひるいまき）　正規（まさのり）

①水筒
②60歳
③拓心会
④４回

堤（つつみ）　喜一郎（きいちろう）

①古間木山
②65歳
③拓心会
④９回

委員会等の構成

常任委員会

民生常任委員会

委員長	野坂篤司
副委員長	髙橋武志
委員	奥本菜保巳
委員	鈴木重正
委員	小比類巻雅彦
委員	堤喜一郎

産業建設常任委員会

委員長	春日洋子
副委員長	澤口正義
委員	加澤明
委員	堀光雄
委員	馬場騎一
委員	山本弥一

総務文教常任委員会

委員長	瀬崎雅弘
副委員長	太田博之
委員	船見亮悦
委員	西村盛男
委員	小比類巻正規
委員	森三郎

議会運営委員会

委員長	馬場騎一
副委員長	鈴木重正
委員	加澤明
委員	澤口正義
委員	太田博之
委員	野坂篤司
委員	小比類巻正規
委員	小比類巻雅彦

基地対策特別委員会

委員長	山本弥一
副委員長	加澤明
委員	瀬崎雅弘
委員	澤口正義
委員	鈴木重正
委員	春日洋子
委員	馬場騎一
委員	森三郎

一部事務組合議会

十和田地区環境整備事務組合
議員　澤口正義

上北地方教育・福祉事務組合
議員　野坂篤司

監査委員

委員　森三郎

3月4日執行
三沢市議会議員一般選挙

投票結果

	男	女	計
有権者数	16,074人	16,916人	32,990人
投票者数	11,072人	11,787人	22,859人
投票率	68.88%	69.68%	69.29%

開票結果（得標順）

当	鈴木重正	2,114票
当	馬場騎一	1,936票
当	澤口正義	1,804票
当	小比類巻正規	1,763票
当	西村盛男	1,526票
当	春日洋子	1,494票
当	森三郎	1,486票
当	堤喜一郎	1,143票
当	山本弥一	1,068票
当	小比類巻雅彦	1,062票
当	堀光雄	1,010票
当	野坂篤司	940票
当	髙橋武志	690票
当	奥本菜保巳	638票
当	船見亮悦	604票
当	加澤明	596票
当	瀬崎雅弘	566票
当	太田博之	534票
次	藤田光彦	470票
	山田清彦	453票
	天間勝則	394票
	浄法寺守政	216票

下水道を使える区域が広がりました

4月1日から■の区域が下水道を使えるようになりました。

既に下水道を利用できる区域で、下水道に接続していない人は

①台所・洗たくなどの排水や浄化槽式トイレは、1年以内に下水道に接続してください。

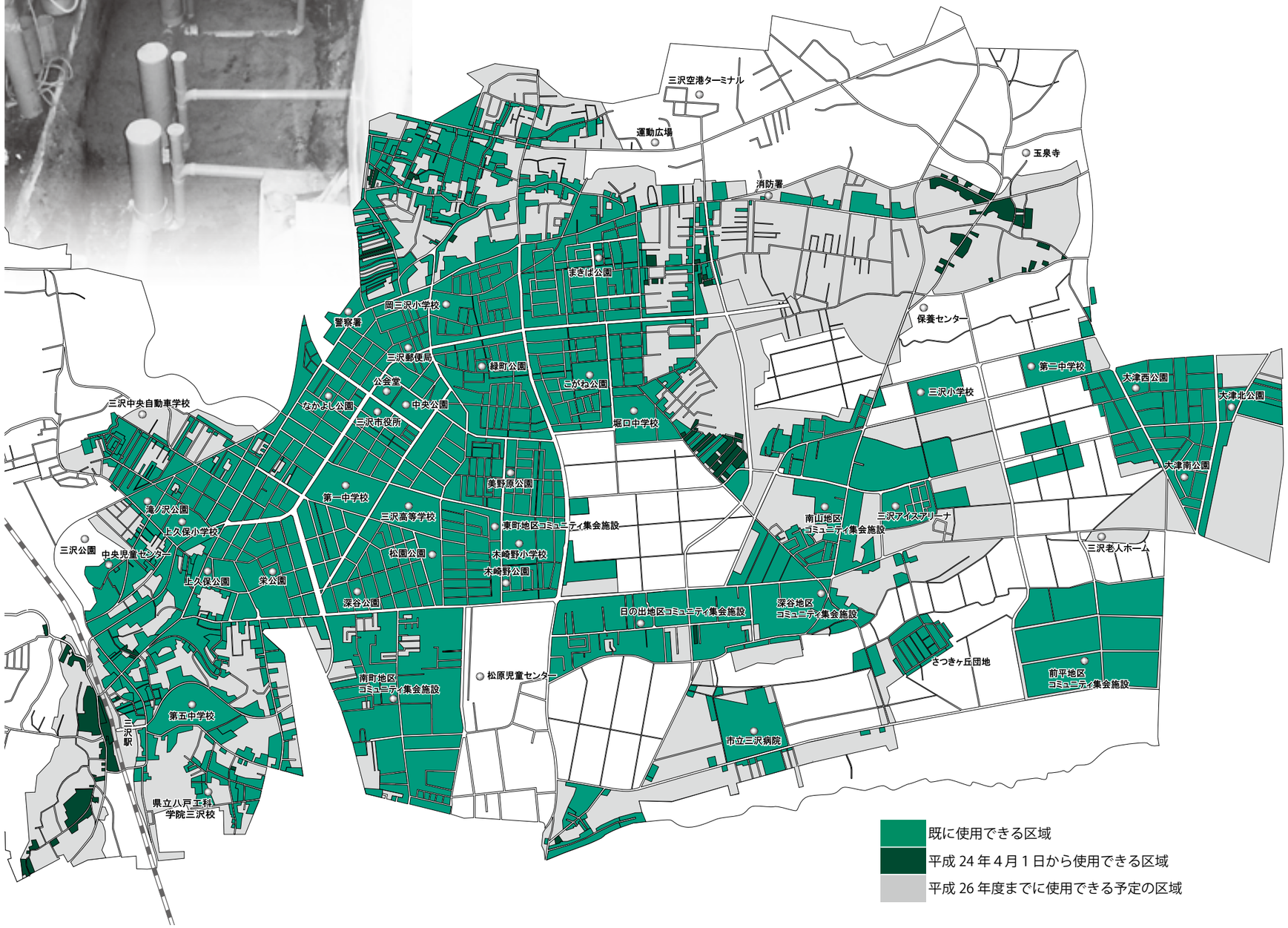
②くみ取り式トイレは、3年以内に水洗式トイレに改造して下水道に接続してください。

下水道に接続するためには、排水設備工事が必要になります。工事費は工事内容によって異なりますが、工事費の負担を少しでも軽くするため、利子を市が全額負担する「融資あっせん制度」がありますので、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先　下水道課　排水設備係（内線335）

宅内排水設備工事の様子

自宅からの排水はこのようにして下水道に接続します。



受益者負担金・分担金

下水道の施設は、道路や公園のように多くの人が利用できるものとは異なり、「処理区域」という限られた地域の人しか利用できません。そのため、下水道建設費の中の市が負担する分を全て税金で賄うことは、下水道を利用できない人にまで負担をかけることになり、公費負担の公平を欠くことになります。

このことから下水道が整備されることで利益を受ける人に建設費の一部を負担していただいています。

平成24年度受益者負担金・分担金の申告

受益者負担金・分担金は年度ごとに賦課する区域を決めており、下記の地区が平成24年度の受益者負担金・分担金賦課対象区域です。

▶千代田町3～5丁目の一部
▶南町1丁目の一部
▶花園町4・5丁目の一部
▶大町2・3丁目の一部
▶中央町3・4丁目の一部
▶東岡三沢1～3丁目の一部
▶平畑1・2丁目の一部
▶岡三沢1・4・6・8丁目の一部
▶日の出1・2丁目の一部
▶泉町1丁目の一部
▶字下久保・字堀口の一部

対象となる土地を所有している人には申告書が送付されますので、必要事項を記入して下水道課業務係に提出してください。

提出期限　4月27日（金）
問い合わせ先　下水道課　業務係（内線378）

私道に公共下水道を敷設できます

私道は市道と異なり、個人の所有物です。管理および権利義務は所有者個人にあるため、市はその土地の所有者に無断で公共下水道を敷設することはできませんが、一定の条件を満たした私道に限り、市の予算で下水道を敷設することが可能です。

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先　下水道課　計画工務係（内線377）

市役所の組織を一部改正しました

総務課（内線 207）

東日本大震災からの復旧・復興に迅速に取り組むとともに、三沢市総合振興計画の着実な推進に対応する組織を目指し、平成 24 年度の組織体制を次のとおり改正しました。

旧（3 月 31 日まで）				新（4 月 1 日から）		
政策財政部	政策調整課	政策調整係	➡	政策財政部	政策調整課	政策調整係
		企画開発係				企画開発係
						交通政策係

鉄道、航空およびバス交通の施策について、一元的、総合的に推進するため、政策調整課内に「交通政策係」を設置しました。

総務部	総務課	法規係	➡	総務部	総務課	法規係
		文書管理係				文書管理係
		人事管理係				人事管理係
		防災係			防災管理室（課内室）	防災企画係
						災害対策係

東日本大震災における地震・津波被害の検証を踏まえ、三沢市地域防災計画の見直しなどを迅速に行うために、総務課内に「防災管理室」を設置し、「防災企画係」と「災害対策係」を新設しました。

経済部	農政水産課	農政係	➡	経済部	農政課	農政係
		畜産係				畜産係
		改良係				改良係
		漁政振興係			水産振興課	水産振興係
		漁港機能施設復旧係				漁港機能施設復旧係

東日本大震災による大津波により、壊滅的な被害を受けた水産業にかかる復旧・復興を迅速に推進するため、農政水産課内の水産部門を切り離し、新たに「水産振興課」を設置しました。農業部門については、課名を変更した「農政課」が担当します。

健康福祉部	家庭福祉課	保育係	➡	**指定管理者制度への移行により、市の組織としての「中央保育所」は廃止となりました。**
	中央保育所			

※担当部署がわからないときは、お気軽に職員にお尋ねください。

学校での災害共済給付対象医療費は「子ども医療費助成制度」の対象にはなりません

教育委員会　教育総務課（内線 233）

（独）日本スポーツ振興センターでは、学校でのけがや病気などに対して、以下の条件を満たしている場合、支払った医療費の 4 割相当額を災害給付金として支給しています。

日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象は
①学校管理下でのけが・病気（登下校・部活を含む）
②初診から完治までかかる費用の総額が 5 千円以上
　※自己負担額（3 割）が 1,500 円以上
のどちらの条件も満たす場合です。

この災害共済給付の対象になる場合は、子ども医療費助成制度の助成を受けることはできません。医療機関では「子ども医療費受給資格者証」は使用せず、学校管理下でのけが、または病気であることを伝え、保険医療の一部負担金である医療費の 3 割相当額をお支払いください。この時お支払いいただいた医療費については（独）日本スポーツ振興センターから 4 割相当額の災害共済給付金が支給されます。

また、「子ども医療費受給資格証」を使用した医療費が、（独）日本スポーツ振興センターの災害共済給付金の対象になった場合は、国保年金課から請求書が届きますので、お支払いください。

問い合わせ先
子ども医療費助成制度について
　国保年金課（内線 240）
災害共済給付金について
　教育委員会　教育総務課（内線 233）

市民の森老人福祉センターへの送迎福祉バスの運行日程が変わります

介護福祉課（内線 382）

老人クラブを中心とした 65 歳以上の高齢者を対象に、福祉バスで市民の森老人福祉センターへの送迎を行っています。4 月からバスが新しくなり、運行も下記の日程に変わります。お気軽にご利用ください。

乗降場所　福祉バスは下記の指定乗降場所以外では停車しません
　※諸事情により、運休またはバス停が変更になる場合がありますので、ご確認ください。
運行時間　「行き」は 9 時に各集合場所を出発し、「帰り」は 14 時 30 分に市民の森老人福祉センターを出発
問い合わせ先　介護福祉課（☎ 51-8773）または市民の森管理事務所（☎ 59-3388）

老人クラブ名	利用町内名	乗降場所	利用月日 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
松友会	古間木1～3丁目、本町1～2丁目、春日台1～3丁目	春日台古田商店前、苫米地理容前、根久商店前	3		7		7		4		6		7	7
梅友会	本町4丁目、新町1～4丁目	新町屯所前												
大町	大町1～3丁目、栄町、南町1～4丁目	マックスバリュー裏												
滝の沢	大町1丁目、新町3～4丁目	沼山商店前												
花駒会	花園町1～3丁目、駒沢、平畑	沼山商店前、旧三沢印刷前												
凛凛クラブ	上久保1～5丁目	沼山商店前												
西花園	花園町4～5丁目	沼山商店前												
栄町うぐいす	栄町1～3丁目	三沢ショッピングセンター前	5		12		2		10		11	8	13	
竹友会・千寿の会	本町、薬師1～2丁目、千代田町	前田塗装前、上野ガソリンスタンド前												
銀座寿	中央町3～4丁目	中央地区コミュニティ集会施設（銀座会館）前	10		13		9		11	8	13		14	
常盤会	中央町1～4丁目	公会堂前、竹島タイヤ前、トヨタカローラ前												
松園町	松園町2～3丁目	美野原公園前、松園町2丁目地区コミュニティ集会施設前、上下水道庁舎裏口前												
平畑寿	平畑1～2丁目	幸町1丁目												
白菊会	幸町1～3丁目、岡三沢2～3丁目、緑町1～3丁目	市役所前、幸町1丁目バス停留所、野々宮釣具店前、三裕タイヤ前、山伊酒店前	11		14		8	7	16		12		19	
浜三沢	浜三沢	西浜三沢、澤口整骨院前												
幸町一丁目	幸町1丁目	太洋舎商事前	12		19	12	16		18		19		21	
岡三沢	上屋敷、後久保、その他	東北ファーム前、山本宅前												
桜	桜町1～3丁目、美野原1～3丁目	市役所前、大沼商店前、大澤商店前	17	15	21		28		17		18		26	
東岡三沢	下久保、上屋敷、後久保	トヨタカローラ前												
南町	南町1～4丁目	大吉食堂前、南町地区コミュニティ集会施設前、松原児童センター前	18	16		18		12		21		10		19
美野原・あすなろ会	美野原1～3丁目	第一幼稚園前												
日の出	日の出1～4丁目	松園公園管理棟前、日の出地区コミュニティ集会施設前、雇用促進住宅前		8	26	10		13		13		16		12
南山	南山1～4丁目、南山	三沢総合保険前												
深谷	深谷、南山	太郎温泉前												
大津	大津、四川目	是川商店前												
三川目	三川目	畑山商店前、五日市自転車店前		9		11		19	24	14		17		13
鹿中	鹿中	松森スタンド前、種市畳店前												
五川目	五川目	スーパードラッグアサヒ前、梅津商店（前平）前、川長商店前		10		19		20		22	20	22		21
淋代	淋代	淋代停留所付近、淋代郵便局前、種元酒店前												
楽生会	田中商店前、葛巻商店前													
百働会	六川目	小泉商店前、中村商店前												
長寿会	深谷	細谷停留所付近		17		24		25		27		23	28	26
はまなす	天ヶ森、新森	新森地区コミュニティ集会施設前												
塩釜友寿会	塩釜	川村商店前、遠藤商店前												
谷地頭	越下、富崎、谷地頭	各バス停留所付近、山中入口、旧谷地頭小学校前		29		26		27	25	29		24		28
根井	高野沢、朝日、根井	各バス停留所付近、根井神社前												

広告　広告

国民健康保険運営協議会委員を募集します

国保年金課（内線 298）

国民健康保険事業の運営を審議する「三沢市国民健康保険運営協議会」に被保険者を代表して参加する委員を募集します。

任　　期　5月1日から2年間
謝 礼 等　条例に基づく報酬と交通費を支給
募集人数　2人（書類選考あり）
応募資格　①三沢市国民健康保険被保険者であること
②20歳以上73歳未満であること
（5月1日現在）
応募方法　住所、氏名、生年月日、電話番号、性別、職業（無職の場合は前職）を明記し、作文「国民健康保険について思うこと」（400字程度・様式自由）を持参または郵送してください。
応募締切　4月18日（水）

申し込み・問い合わせ先
国保年金課　国保係（内線 298）
〒033-8666　三沢市桜町1丁目1-38

「公拡法」にかかる土地の売買は市への届出が必要です

都市整備課（内線 270）

200㎡以上の都市計画道路と1万㎡以上の土地（農地は除く）を売買する場合、または市や県に200㎡以上の土地買い取りの申し出をする場合は「公有地の拡大の推進に関する法律（公拡法）」に従い、申請が必要です。4月から、その申請先が青森県知事から三沢市長に変わりました。

申請にかかる手続きなどを記載した要領や様式については、市ホームページに掲載するほか、都市整備課で閲覧できます。詳しくは、都市整備課までお問い合わせください。

後期高齢者医療保険料賦課限度額が引き上げになります

国保年金課（内線 240）

平成24・25年度の後期高齢者医療の保険料率は、これまでと変わらず、均等割額40,514円、所得割率7.41％です。ただし、平成24年度の保険料賦課限度額は、50万円から55万円に引き上げになります。なお、平成24年度も保険料の軽減措置を継続して実施します。

4月から介護保険料が変わります

介護福祉課（☎51-8773）

これまで、65歳以上の人が納める介護保険料は介護給付に係る費用の20％を負担していただいていましたが、法律の改正によって4月から21％の負担となり、介護報酬も引き上げられることになりました。そこで、下表のとおり保険料が変わります。

対 象 者
▶三沢市に住民登録のある65歳以上の人
▶三沢市に保険料を納め他市町村の介護施設に入所している人

納付方法
年金が年額18万円以上の人
→あらかじめ年金から介護保険料が差し引かれます
年金が年額18万円未満の人、年度の途中で65歳になった人
→市から送付される納付書で納付してください

※個人の所得段階は前年の申告で毎年見直します。
※40歳から64歳までの介護保険料は、健康保険組合または国民健康保険などの医療保険料と併せて徴収されます。詳しい算定方法は、加入する医療保険団体にお問い合わせください。

介護保険制度は、平成12年4月から開始され、加齢に伴う病気などで介護が必要な状態になっても、尊厳を保持し、できる限り自立した日常生活を送れるように老後の安心を支える制度です。
皆さまのご理解とご協力をお願いします。

所得段階	対象区分	保険料（年額）平成23年度まで		保険料（年額）平成24年度から
第1段階	生活保護を受給している人、または市民税非課税世帯の老齢福祉年金を受給している人	30,800円	➡	33,500円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で前年の合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の人	30,800円		33,500円
第3段階	世帯全員が市民税非課税で第2段階に該当しない人	46,200円		50,300円
第4段階	世帯の誰かに市民税が課税されているが、本人は市民税非課税の人	61,600円		67,100円
第5段階	本人が市民税課税で、前年の合計所得額が190万円未満の人	77,100円		83,900円
第6段階	本人が市民税課税で、前年の合計所得額が190万円以上の人	92,500円		100,700円

生ごみを出す前には水切りを

家庭から出るごみの半分近くを占める台所ごみには、多くの水分が含まれています。水分が多いと、収集・焼却時間がかかるだけでなく臭いも発生します。そこで、台所ごみから『ひと絞り』してからごみを出すようご協力をお願いします。

家庭でのごみ出し時に水分を減らすと…

▶ごみを減量できます
▶焼却場でより高い温度で焼却可能になり、ダイオキシン類の発生を抑制できます
▶身近なところではごみから出る汁からの嫌な臭いを抑えることができます。
台所から出る生ごみは、ごみ袋に入れる前に、もう一度水切りしましょう。

問い合わせ先　清掃センター（☎59-3331）

廃棄物不法投棄監視員を募集します

募集人数　1人
職務内容　▶不法投棄防止、投棄箇所発見の市内巡視
▶不法投棄防止のための啓発活動への協力
▶不法投棄者発見時の通報・連絡
身分・報酬　非常勤の特別職（週1日・8時間以内の勤務）
報酬日額6000円
任用期間　5月1日（火）～平成25年3月31日（日）
資　　格　▶市内在住の20歳以上65歳以下の健康な人
（平成24年4月1日現在）
▶普通自動車免許を取得している
▶地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない
▶定期的に業務が行える
選考方法　面接選考（会場：清掃センター）
選考日時　4月20日（金）14時～（予定）
採用発表　4月26日（木）に本人に直接通知
申込方法　履歴書と住民票を持参または郵送
申込期間　4月2日（月）～16日（月）※郵送17日必着
申し込み・問い合わせ先　清掃センター（☎59-3331）
〒033-0022 三沢市大字三沢字戸崎101-1016

市長室からこんにちは

みさわの芽生え

新しい年度を迎え、多くの皆さんが進学または就職され、心も新たに新天地へ向い、ネクタイを締められるなど慣れない習慣や環境の変化があるのではないでしょうか。

私はネクタイを身に付ける機会が多いので、公務の内容次第ではありますが、特に最近はこのまちのPRも兼ね、ミス・ビードル号の絵柄のネクタイを身に付けています。米軍三沢基地のラスティーン司令官をはじめとして多くの方から好評を得ていますので、これに限らずいろいろと取り組み、このまちのPRをしながら活性化に励んでいきたいと考えています。

雪や氷が溶け、植物が芽を出すとともに農耕も始まり、希望に溢れるこの季節。市民の皆さんには、広くまちづくりに参加いただきたく、「ふれあいの館」をリニューアルし、「市民活動ネットワークセンターみさわ」を開設しました。市民の皆さんやNPOの皆さんの交流の場として広く活用され、地域力をますます強くしていただきたいと思います。そして、三沢市のブランド力を向上させる多くの新しいアイデアに市民の皆さんと共に取り組み、まちの活性化を図っていきましょう！

「春植えざれば秋実らず」ですので、多くの種をまき、一日も早く大きな実を結ぶように、今年度も皆さんと共に一丸となって取り組んでいきますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします！

三沢市長　種市一正

2012年4月番組表（4月8日～5月7日）

	月	火	水	木	金	土	日
	4/9･16･23･30	4/10･17･24	4/11･18･25	4/12･19･26	4/13･20･27	4/14･21･28	4/8･15･22･29
	5/7	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6
6	週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
7 30	手話ニュース						手話ニュース
8 30	週刊マック						週刊マック
	求人情報						
9	9～13日 ニッポンの笑顔～こころの復興を求めて～ 16～20日 おでかけしまSHOW 23～28日 青森県市民バンドブラスフェスタ1部(再) 30～5月4日 子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月7日 3.11特番「これから～歩みだす～」					マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
10 30	週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分		手話ニュース
11	サイエンス・チャンネル						8日 ニッポンの笑顔 15日おでかけしまSHOW 22日青森県市民バンドブラスフェスタ1部(再) 29日子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月6日 3.11特番「これから～歩みだす～」
12	週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
1 30	手話ニュース					14日おでかけしまSHOW 21日青森県市民バンドブラスフェスタ1部(再) 28日子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月5日 3.11特番「これから～歩みだす～」	手話ニュース
	求人情報						求人情報
2	9～13日 ニッポンの笑顔～こころの復興を求めて～ 16～20日 おでかけしまSHOW 23～28日 青森県市民バンドブラスフェスタ2部(再) 30～5月4日 子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月7日 3.11特番「これから～歩みだす～」					サイエンス・チャンネル	
3	モールオブTV						
4	週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
5 30	手話ニュース						手話ニュース
	求人情報						
6	サイエンス・チャンネル						8日 ニッポンの笑顔 15日おでかけしまSHOW 22日青森県市民バンドブラスフェスタ2部(再) 29日子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月6日 3.11特番「これから～歩みだす～」
7	マックワイド ▼市内の出来事▼インフォみさわ▼マックコーナー▼市内の天気＆空席情報▼心の詩▼ごみ収集日程▼やさい週間情報▼情報宅配便(文字放送)					週刊マック	
30						手話ニュース	
8 30	求人情報					14日おでかけしまSHOW 21日青森県市民バンドブラスフェスタ2部(再) 28日子どもバラエティ トキメキ☆応援隊 5月5日 3.11特番「これから～歩みだす～」	サイエンス チャンネル
	サイエンス・チャンネル						
9	マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分	週刊マック	
10 30						手話ニュース	
11						週刊マック	

※その日放送されるマックワイド市内の出来事の内容は、EPG(電子番組表)で確認できます。※予告なく番組が変更されることがあります。

11ch マックテレビ 三沢市ケーブルテレビジョン自主放送 Apr. 2012

チャンネルガイド 4月

東日本大震災特集番組

東北新社グループ7チャンネル合同特別番組

『ニッポンの笑顔～こころの復興を求めて～』

©MERRY PROJECT

4月8日(日) 午前11時から

東北３県を"笑顔の傘"で結ぶ水谷氏の活動を通し、震災から１年経った現地の人々の姿、思いを捉え、笑顔の持つ力を考えていきます。

ケーブルテレビ連盟東北支部制作

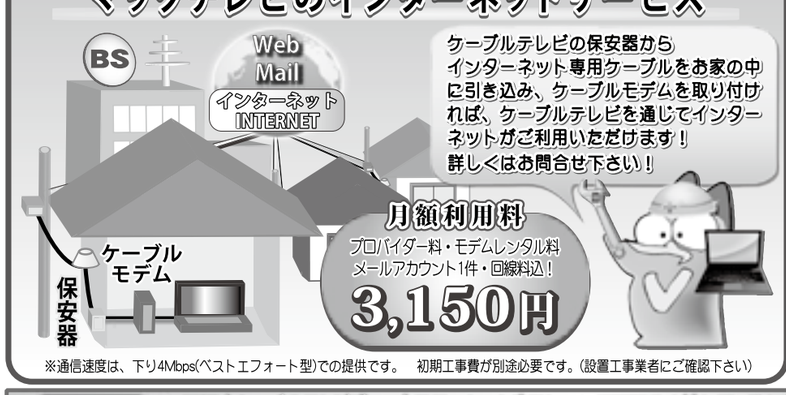
「これから～歩みだす～」

5月5日(土) 午後1時から

2011年3月11日私たちは･･･失ったものだけではない 3.11から一年、青森・岩手・宮城被災3県のケーブル有志局が被災地の現状と課題そして未来への思いをこめて地元目線で綴った共同企画番組です。

制作局 八戸テレビ放送／三陸ブロードネット／気仙沼ケーブルネットワーク 宮城ケーブルテレビ／ジェイコムイースト 仙台キャベツ局／仙台CAT-V

マックテレビのインターネットサービス



ケーブルテレビの保安器からインターネット専用ケーブルをお家の中に引き込み、ケーブルモデムを取り付ければ、ケーブルテレビを通じてインターネットがご利用いただけます！詳しくはお問合せ下さい！

※通信速度は、下り4Mbps(ベストエフォート型)での提供です。 初期工事費が別途必要です。(設置工事業者にご確認下さい)

地域情報番組 マックワイド

月曜日から金曜日 夜7時から放送中

4月の注目マックコーナー

テレビでメタボ予防0円ジム

16日 ストレッチ
30日 タオルを使った筋トレ

テレビを見ながらおウチで簡単メタボ予防！

お知らせ 三沢市ケーブルテレビジョン市民アンケート結果について下記の方法にてご覧いただけます。 ご回答くださいました方々、ありがとうございました。
○三沢市ホームページ ○市役所本館１階情報公開コーナー

お問合せ先：三沢市ケーブルテレビジョン ☎５１-１２５５（国際交流教育センター内）

出来事通信 できごと つうしん

滑って転んで広がる親交

氷上つなひき大会　2月26日

冬季間の健康・体力づくりと青少年の健全育成を目的に三沢市自治振興公社が毎年開催しているこの大会に、小学生と一般の部を合わせて14チーム、約140人が参加し、冬季ならではの「氷上つなひき」を楽しみました。

準備体操で体をほぐし、手袋や長靴といった防寒具にヘルメットを装着！やる気十分で綱を握る参加者たちでしたが、通常のつなひきと違って足元はつるつる滑る氷！上半身に力を入れるも足腰にふんばりが効かず、滑って転ぶ参加者もたくさんいました。その姿を見て応援団や他のチームも思わず笑顔になり、敵味方、家族、友だち関係なく、氷上でも心温まる1日となりました。

◀▶通常のつなひきとは勝手が違い転びながら悪戦苦闘する参加者たち

チームプレーに喜びを分かち合う

県南ソフトバレー交流大会　2月26日

総合体育館で開催されたこの大会は、通常より大きく柔らかいボールを使ったソフトバレーボール競技が県南地域で盛んになってきたことから、市バレーボール協会の中にあるソフトバレー部が中心となり一昨年初めて開催したもの。昨年は東日本大震災の影響で中止になったため、今回で第2回目の開催となり、三沢市を中心に八戸市や十和田市などから23チーム約130人が参加しました。

大きく柔らかいボールということもあって、女性選手は柔軟さや瞬発力を活かし、体の大きな男性選手に負けじと大活躍。また、連携やカバーなど随所にチームプレーが見られ、喜びを分かち合い励まし合う姿に、勝敗以上に大切なチームメイトとの絆の深まりを感じました。

◀大きなボールでつながりやすく、随所にチームプレーが見られました

「食」で日米がひとつに

鍋＆スープフェスティバル　2月25日

日米の相互理解を深めるために東北防衛局が行っている「日米交流フェスタ inMISAWA」の第4回目となるフェスティバルが国際交流教育センターで開催されました。

日本の鍋とアメリカのスープの両方の文化を掛け合わせ、新たな三沢の名物となるような料理を生み出そうというこの試みに、日米混合の5チームが参加。三沢の特産であるゴボウやホッキ貝を使いながらトマトスープやチャウダーなどでアメリカ風の味に仕上げたり、アメリカの食材を取り入れながら醤油ベースのスープで味をつけたりと、各チームで日米の特徴を生かした独創性あふれる料理を試行錯誤しながら創作し、その味とオリジナリティーで競いました。

◀試食会では用意された1千食はあっという間になくなるほど人気でした

収穫の秋を楽しみに、きのこの植菌

きのこ植菌体験会　3月17日

市内の公園などを管理する三沢市公園緑化公社では、緑化思想の普及啓発活動の一環としてさまざまな事業を行っており、墓地公園で開催されたこの体験会もその事業のひとつ。きのこがどのようにしてできるのか、菌の植え付けを実習してもらうことで自然への興味や関心を持ってもらおうと企画されたものです。

この日集まった約20人の参加者は実習に先立ち、きのこの種類や生態、栄養素などについて講義と植菌の仕方のレクチャーを受け、5つの班に分かれて公園緑化公社によって準備されたヤシャブシの木にドリルで穴をあけ、ナメコの菌を植えていきました。

◀来年の秋頃という収穫を楽しみに参加者は植菌した原木を持ち帰りました

緊急時の対応をシミュレーション

日米ガイドライン図上訓練　2月29日

公会堂の会議室で「日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドライン」の図上訓練が行われました。これは、米軍の施設・区域外で米軍航空機に緊急着陸等の事故が起こった状況で各関係機関が連携し、迅速に救助等を行うための連絡体制や役割分担を確認するもの。米空軍三沢基地、三沢市、三沢市消防本部、警察、三沢防衛事務所、八戸海上保安部ら訓練者に各関係機関を合わせ、約80人が参加しました。

訓練では、三沢漁港周辺の図面上に車両や人員の模型を配置し、スクリーンに映し出されたタイムスケジュールに沿って、訓練者が指示する事故対応を視覚的に再現しながら確認しました。

◀市では図上・実動訓練を毎年度交互に実施。平成24年度は実動訓練を予定

あったかい汁物で、まんぷく満足

まんぷく祭「鍋汁フェア」　3月18日

市がまちの活性化を目指し、異なる食材をテーマにして2カ月毎に開催する「まんぷく祭」の第2弾は、寒い季節にぴったりな鍋と汁物の競演。アメリカ広場に市内外から多くの来場者が集まり、湯気立ち上るさまざまな料理を食べ比べました。

今回出展した10種類の鍋や汁物は、前回の開催でこの取り組みを知って参加を希望した料理店の名物料理や、2月に開催された創作料理イベント「鍋スープフェスタ」で入賞したチームによるどれもがおいしそうな自慢の一品。湯気と香り漂う会場内で次はどの料理にしようかと迷っていた来場者も、熱々の料理の美味しさに満足。お腹も満たして顔をほころばせていました。

◀次回のテーマは「肉」。5月13日(日)に同じ場所で開催されます

被災者を悼み、子や孫に伝える

東日本大震災被災者追悼式　3月11日

三沢漁港魚市場内で行われたこの追悼式は、震災から1年となるこの日、震災で亡くなった組合員を含む全ての方を追悼し、記憶にとどめてこれからの復興に向かう決意を新たにするために、玉泉寺関係者の協力を受けて市漁業協同組合が主催したもの。震災発生時刻である14時46分に市内全域にサイレンが鳴り、全員で黙とうを捧げ、読経の後に参列者一人ひとりが献花しました。

式の中で市漁業協同組合の門上組合長は「ようやく1年。しかし5年たっても10年たっても、あの津波さえなければという思いは変わらないでしょう。教訓を心にとどめ、子や孫に伝え、復興に邁進したい」と話し、決意の想いを伝えました。

◀祭壇に献花し、手を合わせて深く祈りを捧げる参列者

みさわ情報ねっと

市役所　☎53−5111

市民無料相談

問：問合わせ
場：開催場所

●法律相談（法テラス青森主催）
4日（水）・18日（水）
5月2日（水）
13時～16時
問 法テラス青森（☎050-3383-5552）
場 市民相談室　※要電話予約・先着6名・受付条件あり

●法律相談（社会福祉協議会主催）
10日（火）
13時～16時
問 場 社会福祉協議会（☎52-3270）
※要電話予約・先着6名

●法律相談（市主催）
24日（火）
13時～16時
問 広報広聴課（内345）
場 市民相談室　※要電話予約・先着6名

●人権・行政相談
9日（月）
10時～15時
問 広報広聴課（内345）
場 市民相談室

●人権・困り事相談
第2・4木
9時30分～15時
問 人権・困り事相談所（☎52-7083）
場 市民活動ネットワークセンターみさわ（旧ふれあいの館）

●教育相談
毎週月～金
8時15分～16時
問 場 国際交流教育センター内教育相談室（☎53-6060）

●家庭児童・婦人相談
毎週月～金
9時～16時
問 場 家庭福祉課（内381）

●育児・子育て支援相談
毎週月～金　8時30分～16時30分
毎週土　8時30分～11時30分
問 場 三沢地域子育て支援センター（☎53-1176）

●育児・子育て支援相談
毎週月～金
9時～16時30分
問 場 みさわファミリーサポートセンター（☎50-1518）

●消費者生活相談
毎週月～金
9時～17時
問 県消費生活センター八戸相談室（☎0178-27-3381）

●警察安全相談
随時
電話相談可
問 三沢警察署総務課（☎53-3145　内217）

●犯罪被害者支援相談
毎週月～金
9時～16時30分
問 青森県地方検察庁被害者ホットライン（☎017-722-1234）

●がん・緩和ケア・医療相談
毎週月～金
9時～16時
問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎51-1375）

●介護・福祉相談
毎週火
10時～15時
問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎51-1375）

お知らせ

緑の募金にご協力を

緑あふれるふるさとのために

皆さまから寄せられたご厚意は、豊かな自然を広げる活動に活用されます。緑あふれるふるさとを創っていくために、ご協力をお願いします。

期　間　5月31日㈭まで
※個人の募金は街頭（4月29日予定）または公園緑化公社で随時受付。団体は職場、学校などでお願いします。
▼申し込み・問い合わせ
三沢市公園緑化公社（☎51−2820）

青果市場の営業時間

4月2日から変更します

地元の新鮮な野菜や加工品などを直売する青果市場（幸町市営駐車場隣り）の営業時間を変更します。

営業時間　9時～18時
※毎週日曜日は定休日です。
▼問い合わせ　青果市場（☎53−8486）

屋内温水プールの臨時休館

清掃のためご利用できません

清掃と水の入れ替えのため、ご利用できません。

期　間　4月9日㈪～13日㈮
▼問い合わせ　屋内温水プール（☎59−3850）

合併処理浄化槽設置補助金

申請を受け付けます

下水道認可区域や農業集落排水処理施設整備予定区域以外で、住居に設置する単独処理浄化槽やくみ取り式トイレを合併処理浄化槽に替える方に補助金を支給します。槽の規模は居住人数で決まりますのでお問い合わせください。

受付期間　7月下旬まで
対象件数　先着3件程度
補助金限度額（予定）
5人槽　35万2千円
7人槽　41万1千円
10人槽　58万8千円
▼問い合わせ　環境衛生課（内線279）

NTT東日本の電話帳を発行

現在お使いの電話帳を回収

4月中に順次、新しい電話帳を各ご家庭や事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は、その際に配達員にお渡しください。

ご不在の場合は、ご連絡いただければ回収に伺います。

▼問い合わせ
タウンページセンタ（☎0120−506−309）

▲5月発行の表紙デザイン（変更になる場合あり）

催し

航空科学館イベント情報

ミサワの昭和展

懐かしい時代の写真などで当時を振り返り、地域に眠る貴重な8ミリ・16ミリフィルムを上映しながら当時のこぼれ話を紹介します。

と　き　開催中～5月6日㈰まで
※フィルム上映は4月8日㈰13時30分～15時のみ。
ところ　特別展示室
入場料　無料
▼問い合わせ　県立三沢航空科学館（☎50−7777）

上十三もの忘れフォーラム

認知症の早期受診のために

と　き　4月14日㈯13時30分～16時
ところ　十和田市民文化センター（十和田市西三番町2−1）
定　員　300人
※先着順、事前申込不要
入場料　無料
▼問い合わせ　エーザイ㈱（☎0177−77−7545）

図書館からのお知らせ

図書館シネマ

アニメから大人向けの映画まで多様な映画を毎月1回上映！気軽にご参加ください。

と　き　4月14日㈯13時～
ところ　3階第1会議室
館長&ライブラリアントーク
テーマ　本屋大賞の季節がやってきました！
と　き　4月21日㈯13時30分～
ところ　3階第1会議室

語り聞かせ

はまなすの会による昔話や紙芝居、懐かしい遊びなど。

と　き　4月21日㈯10時～
ところ　3階第1会議室

春のおはなし会

と　き　4月28日㈯10時30分～
ところ　1階こども室
参加料　無料
▼問い合わせ　図書館（☎53−6040）

市民の森　ドッグラン開始

ワンちゃんを自由に遊ばせよう

期　間　5月3日㈭㈷～10月29日㈪の間の㈯㈰㈪㈷
利用時間　9時～15時
ところ　市民の森総合運動公園軟式テニスコート
利用料　1時間300円
※5月3日㈭㈷は無料開放
▼申し込み・問い合わせ
市民の森総合運動公園管理棟（☎59−2221）

ふるさと塾　愛犬しつけ教室

しつけとマナーを指導

と　き　5月3日㈭㈷9時～
ところ　市民の森総合運動公園軟式テニスコート
参加料　無料
※当日の8時50分に会場集合
▼問い合わせ　ふるさと塾（☎080−1694−2322）

春の家族ふれあいデー

家族の交流を深めませんか？

春の大空を泳ぐ鯉のぼりの下で昔懐かしい玩具作り体験やゴーカートなどに乗って家族の交流を深めませんか？

と　き　5月3日㈭㈷9時～15時
ところ　市民の森総合運動公園
入場料　無料
▼問い合わせ　NPO法人マン・パワー（☎57−2322）

桜と温泉祭り

温泉に出かけませんか？

植木市や出店、カラオケ大会、ベリーダンスショーなどを開催！午前と午後の先着100人に、つきたてお餅のお汁粉と温泉玉子を無料配布します。

と　き　4月30日㈪㈷9時30分～17時
ところ　市民の森温泉浴場
▼問い合わせ　市民の森老人福祉センター（☎59−2246）

みさわ桜まつり

ライトアップで夜桜鑑賞

点灯期間　4月中旬～5月6日㈰
※桜の開花日により変更あり
点灯時間　18時～21時
ところ　中央公園
※協賛広告主も募集中です。詳しくはお問い合わせください。
▼問い合わせ　㈳三沢市観光協会（☎59−2311）

病院ハートフルコンサート

歌謡曲とジャズで心を癒して

と　き　4月22日㈰16時～
ところ　三沢病院1階ロビー
出　演　三沢市シティーバンド
▼問い合わせ　ハートフルコンサート実行委員会　成田（☎52−6097）

講座・教室

親子ビクス講座

リズム合わせてスキンシップ

と　き　5月10日、17日、24日の㈭10時～11時30分
ところ　総合体育館　柔道場
対　象　1～3歳の幼児と保護者
定　員　17組程度（先着順）
受講料　800円
申込締切　5月7日㈪17時
※当日は汗拭きタオル、水分補給用ドリンク、着替えを準備して下さい。
▼申し込み・問い合わせ
総合体育館（☎53−1218）

太極拳教室（前期）

太極拳の基礎を学びます

と　き　5月12日～6月2日の各土曜日
ところ　武道館剣道場
対　象　小学校高学年以上
定　員　20人
参加料　千円（施設使用料等）
申込期間　4月11日㈬13時～定員に達するまで
※当日は室内シューズ、タオル、運動しやすい服装を準備してください。
▼申し込み・問い合わせ
武道館（☎57−0050）

広告　広告

募集

元気はつらつ3B体操教室
楽しくメタボを吹き飛ばそう

運動不足解消や肩こり腰痛予防に最適です。（無料）

とき　4月12日、26日、5月10日の㈭13時30分～15時
ところ　働く婦人の家
▼問い合わせ
三沢3B体操サークル　佐々木（☎090－2023－5154）

普通救命講習会
いざというときのために

とき　4月15日㈰9時～12時
ところ　消防本部2階講堂
定員　30人（先着順）
内容　8人以下の場合は中止
成人の心肺蘇生法やAED使用方法など
受講料　200円（テキスト代）
▼申し込み・問い合わせ
消防署救急係（☎54－4212内線218）

早朝ウォーキング教室
朝の運動で心も体も健康に

とき　5月9日㈬～9月28日㈮の毎週㈪㈬㈮の6時～7時
ところ　公会堂から4㎞コース
定員　40人程度
参加料　無料
申込締切　4月23日㈪
▼申し込み・問い合わせ
市民スポーツ課（内線372）

市民大学趣味講座
受講生を募集します

教養教室（18歳以上）
陶芸・能面・木彫・太極拳
川柳

高齢者クラブ（60歳以上）
生け花・書道・茶道・詩吟
日舞、水墨画・短歌・俳句
民謡舞踊・陶芸
定員　各20人（能面は10人）
受講料　無料（材料は自費）
受付期間　4月14日㈯13時30分～

合同開講式・開講記念講演
とき　4月14日㈯14時～
ところ　公会堂3階集会室
演題　「多種多様の顔を持つ三沢の近現代史」
講師　青森県県民生活文化課主幹　中園裕　氏
▼申し込み・問い合わせ
公会堂（☎53－8711）

手弁当まなび講座
講師を募集します

報酬が無くとも、自分の知識や経験を活かして講座を開きたい方は、ご連絡ください。

とき　7月～12月頃
ところ　公会堂
申込締切　4月30日㈪㈷
▼申し込み・問い合わせ
公会堂（☎53－8711）

食生活改善推進員養成講座
食を通じた健康づくりのため

地域で食生活改善の普及活動をしていただく推進員を養成する、調理実習や講話など10単位（20時間）の養成講座を開設します。

とき　5月～9月
ところ　保健相談センター
対象　市内在住で地域で積極的にボランティア活動ができる70歳以下の方（男性も可）
定員　約10人（先着順）
受講料　1543円（教材費）
申込期間　4月2日㈪～
▼申し込み・問い合わせ
健康推進課（☎57－0707）

認知症対応型デイサービス
事業者を募集します

認知症対応型デイサービス施設（12人以下）を整備し運営する事業者を募集します。

募集数　1事業者
申込方法　申請書類を提出
※様式は介護福祉課で配布または市ホームページからダウンロードできます。
申込締切　4月27日㈮

公募説明会
とき　4月6日㈮14時～
ところ　総合社会福祉センター2階
▼申し込み・問い合わせ
介護福祉課（☎51－8773）

基地見学バスツアー
フライデーツアー参加者募集

消防隊、F16戦闘機、空軍放送局、統合クラブ、室内遊技場などの中から毎月1カ所を見学します。

とき　4月27日、5月18日、6月22日、7月20日、8月24日の金曜日　9時～10時30分
定員　各回30人（先着順）
参加料　無料
申込方法　氏名、年齢、職業、住所、電話番号を電話でお知らせください
申込開始　4月9日㈪～
申込締切　各開催日の10日前
※当日は8時40分までに市役所ロビーに集合してください。
※米軍の都合で変更・中止する場合があります。
※9月以降の開催日は未定。
▼申し込み・問い合わせ
観光物産課（内線359）

ひだまりサロン
協力者を募集します

自慢の作品や歌声を披露してみませんか？

ところ　公会堂メインロビー
申込締切　4月30日㈪㈷
▼申し込み・問い合わせ
公会堂（☎53－8711）

広告　広告

CONCERT
三沢商業高等学校吹奏楽部 スプリングコンサート
Enjoy what you have ～かけがえのない日常～

日　時　5月4日（金・祝）13:00～（開場 12:30）
場　所　公会堂　大ホール
曲　目　平成24年度課題曲ほか
入場料　無料
★問い合わせ先　青森県立三沢商業高等学校吹奏楽部（☎53-2880）

INVITE
市営住宅の入居申し込みを受け付けます

4月3日(火)から平成24年度の入居申し込みを受け付けます。申し込みは年度毎に受け付けますので、平成23年度中にお申し込みされた方も改めてお申し込みください。

入居資格　①市民であるか、市内に勤めていること
②住宅に困っていること
③所得が政令で定められた金額以下であること
※詳しくはお問い合わせください。
④税金の滞納がないこと
⑤暴力団員でないこと

※平成24年度から同居親族要件は廃止
★申し込み・問い合わせ先
建築住宅課（内線260・263）

LECTURE
語学講座のご案内

講座・講師	開設日時	講師から一言	費用・定員
日常英会話 クリスティ・ジューン・チュウ講師	毎週火曜日 10:00～12:00 4/24,5/1,8,15,22,29,6/5,12　計8回	日常使用する英語を学びます。少し英語が話せる人向きです。	資料代 2,400円 定員 20人
英語初級講座　田中多恵子講師	毎週火曜日 18:00～20:00 4/24,5/1,8,15,22,29,6/5,12　計8回	バラエティに富んだ内容で易しく英語を学んでいきます。（中学校3年生程度）	資料代 2,400円 定員 20人
英会話中級講座 クリスティ・ジューン・チュウ講師	毎週火曜日 18:00～20:00 4/24,5/1,8,15,22,29,6/5,12　計8回	もう一歩進んだコミュニケーションを望んでいる人を対象にした英会話講座です。	資料代 2,400円 定員 20人
日本語初級講座 アトキンソンみゆき講師	毎週火曜日 18:00～19:00 4/24,5/1,8,15,22,29,6/5,12　計8回	市内在住の外国人が対象の講座です。日本語の基礎から勉強します。	資料代 2,400円 定員 20人（外国人）
日本語中級講座 アトキンソンみゆき講師	毎週火曜日 19:00～20:00 4/24,5/1,8,15,22,29,6/5,12　計8回	市内在住の外国人が対象の講座です。日常基礎会話を中心に勉強します。	資料代 2,400円 定員 20人（外国人）

申込方法　電話、FAXまたはEメールで希望する講座名、住所、氏名、電話番号をご連絡ください。
申込期間　4月2日（月）～13日（金）
※申し込みは原則、1人1講座までとさせていただきます。
※講師の都合などにより、上記の日程や講師が変更になる場合があります。
★申し込み・問い合わせ先　みさわ国際交流協会〔国際交流教育センター内〕（☎51-1349）　FAX 51-1211
Eメール kokusai@city.misawa.lg.jp

広告　広告

MEDICAL INFORMATION
市立三沢病院の新たな医師を紹介します

4月1日付けで市立三沢病院へ新たに4人の医師が赴任しました。なお、医療局長の棟方正樹医師は県立中央病院に転出し、外科医長の相沢俊二医師は退職しました。

★問い合わせ先　三沢病院管理課（☎ 53-2161）

内科

副院長兼医療局長
斎藤 聡 医師
（県立中央病院から）

研修医
金城 貴彦 医師
（弘前大学医学部附属病院から）

研修医
太田 理恵 医師
（むつ総合病院から）

外科

医長
宮本 慶一 医師
（弘前大学医学部附属病院から）

MEDICAL INFORMATION
耳鼻咽喉科の外来診療を再開します

5月7日（月）から耳鼻咽喉科の外来診療を開始します。
診療日　毎週月曜日の午前、毎週木曜日の午後
※予約をする場合は、保険証を持参のうえ、13:00～16:00の間に予約窓口でお手続きください。

★問い合わせ先　三沢病院医療情報システム課（☎ 53-2161）

MEDICAL INFORMATION
人間ドックの受診料金が改定されました

診療報酬改定に伴い、人間ドックの料金を改定したのでお知らせします。

施設		旧料金		新料金	検査内容
コース	1日ドック	団体 27,300円 個人 29,400円	➡	31,500円	団体、個人の区分を廃止
コース	2日ドック	59,800円	➡	男性 59,850円 女性 65,100円	諸検査＋前立腺検査 諸検査＋乳がん・子宮頸がん検査
コース	脳ドック	21,000円	➡	21,000円	諸検査＋頭部 MRI・MRA
オプション	眼底検査	2,100円	➡	2,100円	両眼
オプション	脳検査	17,850円	➡	17,850円	頭部 MRI・MRA
オプション	骨密度検査	1,050円	➡	4,200円	DXA法（腰椎＋大腿骨）
オプション	大腸がん検査	10,500円	➡	14,805円	下部消化管内視鏡
オプション	前立腺検査	2,100円	➡	2,625円	PSA
オプション	乳がん検査	3,150円	➡	8,610円	マンモグラフィー2方向＋乳腺エコー＋視触診
オプション	子宮頸がん検査	3,150円	➡	6,930円	細胞診＋卵巣エコー＋内診
オプション	乳がん・子宮頸がんセット	5,250円	➡	廃止	

★問い合わせ先　三沢病院医療情報システム課（☎ 53-2161）

住宅を火災から守りましょう
春の火災予防運動

4月9日から15日までの1週間、県下一斉に実施される「春の火災予防運動」は、空気が乾燥し火災の起こりやすい時季を迎えるにあたり、火災の予防を考え、大切な命、財産の損失を防ぐことを目的として毎年行われています。

火災は少しの不注意から起こります。あなたのお宅の防火対策について話し合ってみましょう。

統一標語「消したはず　決めつけないで　もう一度」

★問い合わせ先　消防本部予防課（☎ 54-4279）

ワンポイント消防
住宅防火　いのちを守る7つのポイント

3つの習慣
①寝たばこは絶対にしない
②ストーブは燃えやすいものから離して使う
③火の元を離れるときは必ず一度火を消す

4つの対策
①住宅用火災警報器を設置する
②寝具や衣類からの火災を防ぐために防炎製品を使用する
③火災を小さいうちに消すために住宅用消火器を設置する
④お年寄りや身体の不自由な人を火災から守るために隣近所の協力体制をつくる

住宅用火災警報器を設置されていないご家庭は早急に設置しましょう。　消防本部予防課

連載　お答えします！
Q&A 国民年金 question and answer

Q　平成24年度の国民年金保険料はいくらになりますか？

A　平成24年4月から平成25年3月までの国民年金保険料は、月々1万4980円となります。

また、4月上旬には日本年金機構（旧社会保険庁）より、国民年金保険料納付案内書（納付書）が送付されます。納付案内書では、毎月分の保険料の納付書のほかに、前納（まとめて前払い）や口座振替による、お得で便利な納付方法についてもご案内させていただく予定です。

◆保険料の前納は、例えば、現金で1年分をまとめてお支払いいただくと3190円、6カ月分の場合は730円の割引となります。

◆口座振替による前納を利用した場合、6カ月分の場合は1020円の割引となり、現金での前納よりもさらにお得です。

※1年分前納の受付は2月末で終了しました。

▼詳しくは、八戸年金事務所『0178―43―7368』へ。

▼日本年金機構のホームページもご覧ください。
http://www.nenkin.go.jp/

4月の保健だより

休日救急診療

4月	1日	まつぞのクリニック	52－5050
4月	8日	鳴海外科医院	53－3056
4月	15日	三沢中央病院	57－1111
4月	22日	こおり耳鼻科クリニック	53－3387
4月	29日	みさわクリニック	53－3739
4月	30日	柿崎外科医院	57－1151
5月	3日	得居泌尿器科医院	50－1333
5月	4日	ひぐちクリニック	50－1441
5月	5日	すずき小児科内科クリニック	52－6555
5月	6日	さいとう耳鼻咽喉科クリニック	50－1406

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

献血のお知らせ

日　時		場　所
4月7日（土）	10:00～12:00 13:00～16:00	スカイプラザミサワ
5月5日（土）	10:00～11:45 13:00～16:00	ビードルプラザ

病気やケガなどで輸血を必要としている方の生命を救うため、献血のお願いをしています。
問い合わせ…保健相談センター☎ 57-0707

健康診査・保健相談

	内容・対象	月日	時間	場所
母子	妊婦歯科健診 ＊母子手帳を持参してください。	4月17日(火)	受付 13:15～13:30	保健相談センター
母子	両親学級1課　＊予約制 講話・妊婦体操など ＊母子手帳を持参のうえ、動きやすい服装でお越しください。	4月27日(火)	13:30～15:00 (受付 13:15～13:30)	保健相談センター
母子	4カ月児健康診査 ＊希望の保護者は歯科健診を受けることができます。 ＊ブックスタート事業（絵本の読み聞かせやプレゼント）があります。	4月17日(火)	受付 12:45～13:15	保健相談センター
母子	6～7カ月児健康相談	4月17日(火)	受付 9:30～10:00	保健相談センター
母子	9～10カ月児健康相談	4月18日(水)	受付 9:30～10:00	保健相談センター
母子	1歳6カ月児健康診査 (平成22年8月生まれの幼児)	4月26日(木)	受付 12:45～13:15	保健相談センター
母子	2歳児歯科健康診査 (平成21年11月生まれの幼児)	4月18日(水)	受付 12:45～13:15	保健相談センター
母子	3歳児健康診査 (平成20年9月生まれの幼児)	4月25日(水)	受付 12:30～13:00	保健相談センター
母子	▼乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオルなどを持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票などを忘れずに。 体調不良や感染症などのときは受診をご遠慮ください。			保健相談センター
成人・老人	栄養相談	随時受付（予約制）		保健相談センター
成人・老人	一般健康相談	月～金曜日随時	8:30～16:30	保健相談センター
成人・老人	こころのケア相談　電話相談	4月12日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	保健相談センター
成人・老人	こころのケア相談　面接相談	4月26日(木)	10:00～15:00	保健相談センター
成人・老人	＊面接は3日前までに要予約　☎ 57-0029（専用電話）受付 13:00～14:00			

年1度は検診を受けましょう
各種集団検診の日程

▶各種がん検診は選択して受けることができます（年度内に1度限り）
▶年齢は全て平成25年3月31日を基準
▶生活保護世帯、非課税世帯、65歳以上の方は無料で受診できます
▶検診会場は保健相談センターです。（8/28は新森地区コミュニティ集会施設）

検診項目	対象者	検診内容	料金	実施期間	案内・申込方法
胃がん検診	40歳以上	問診・胃部X線	1600円	市民がん検診として同日実施 6/27～30, 7/8～12, 7/29～8/2,28,29, 11/6～10,29,30	5月に広報などで案内します ▶申込方法 ①保健相談センター窓口 ②申込書（保健相談センター設置またはホームページ掲載）を郵送　※FAX不可 ③保健協力員への申し込み
大腸がん検診	40歳以上	問診・便潜血反応	500円		
肺がん検診	40歳以上	問診・胸部X線 （必要により喀痰検査）	500円 （喀痰検査は800円）		
肝炎ウィルス検診	40歳以上	問診・血液検査	600円		
歯周病検診	40歳以上	問診・歯科診察	無料		
前立腺がん検診	50歳以上の男性	問診・血液検査	600円		
子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢女性	問診・視診・子宮頸部細胞診・超音波検診	1800円 （卵巣がん検診300円含む）	婦人科検診として同日実施 9/26～28, 10/1～5,23～26, 11/13～16	8月に74歳までの対象者には個別通知するほか広報などで案内 ▶申込方法 ①申込はがきで窓口申し込み ②申込はがきを封筒で郵送 ③窓口で申し込み（76歳以上）
卵巣がん検診	20歳以上の偶数年齢女性				
乳がん検診	40～58歳の偶数年齢	問診・視触診・マンモグラフィ	40歳代 1,700円 50歳代 1,300円		
乳がん検診	60歳以上の偶数年齢	問診・マンモグラフィ	900円		
骨粗しょう症検診	40,45,50,55,60,70歳の女性	問診・骨密度測定	600円	9/3,10/31	対象者に個別通知 ▶申込方法 ①窓口②郵送

★問い合わせ　保健相談センター（☎ 57-0707）

2012・4
No.690

発行　三沢市役所　編集　広報広聴課
〒033-8666　青森県三沢市桜町1-1-38
☎0176-53-5111　FAX52-5655
Eメール　koho@city.misawa.lg.jp

1 3月に念願の新しい園舎から卒園した佐藤実南（みなみ）さん（中央）と根城桜花（おうか）さん（左）
2 淋代地区から飛び立ったミス・ビードル号をイメージした優しいオレンジ色の外観
3 保護者や淋代福祉会役員の協力を受け職員が尽力。12日から保育できる環境が整った
4 年代別の保育室 5 飛び跳ねて喜ぶ園児たち

新たな園舎に園児たちが入所／淋代保育所

感謝の気持ちを忘れずに育ってほしい

東日本大震災で被災した淋代保育所の園舎移転新築工事が3月9日に完了。同月12日、園児たちが新たな園舎に初めて足を踏み入れた。

元の場所から坂を上がった淋代地区コミュニティ集会施設の近隣に建設された新園舎は、平屋で木の床や柱、白を基調とした内装、高い天井の共有スペースが印象的。保育に適した目的毎に部屋が区切られ、年代に合わせた保育ができる。この1年間を間借りした集会施設で過ごしてきた園児たちは、真新しい園舎に目を輝かせて飛び跳ね、保護者や職員も一緒に喜び、舎内に笑顔があふれた。

引っ越しは、奇しくも東日本大震災からちょうど1年後の3月11日。園児の保護者からなる「母の会」が自ら連絡を取り合い、男性も含めて20数人が駆けつけた。半日でほとんどの荷物を移動したおかげで、12日から新園舎に園児たちが通うことができた。

3月22日、7人の職員と22人の園児や保護者が見守る中、多くの人々の愛と想いを受け、4人の園児が念願の新しい園舎で卒園式を迎えた。

淋代保育所
森谷（もりや）　典子（のりこ）所長

「心待ちにしている園児を1日でも早く新しい園舎に通わせたい」「新しい園舎から卒園児を送り出したい」と職員全員が強く願い、保護者をはじめ地域の方々や施工業者さんから力を尽くしていただいて頑張ってきました。たくさんの人が力を合わせることで建てることができたこの新しい園舎には、みんなの愛や想いが詰まっています。

東日本大震災から1年間、保育所の復興に関わってくださった全ての皆さまに、心から感謝しています。震災で体験したこと、そしてこれまでいただいた、たくさんの愛と援助への感謝の気持ちを子どもたちが忘れずに育っていけるよう伝えていくことが、これからの私たちの大切な使命だと思います。

広報みさわに対するご意見やご感想、取り上げてほしい行事や話題など、皆さまからの情報をお待ちしています。ご連絡は広報広聴課まで。

人口と世帯数　―2月末現在―　※（　）内は前月との増減比較

■人口 42,223 人（－28 人）・男 20,805 人（－25 人）・女 21,418 人（－3 人）　■世帯数 18,571 世帯（－10）